

HITACHI

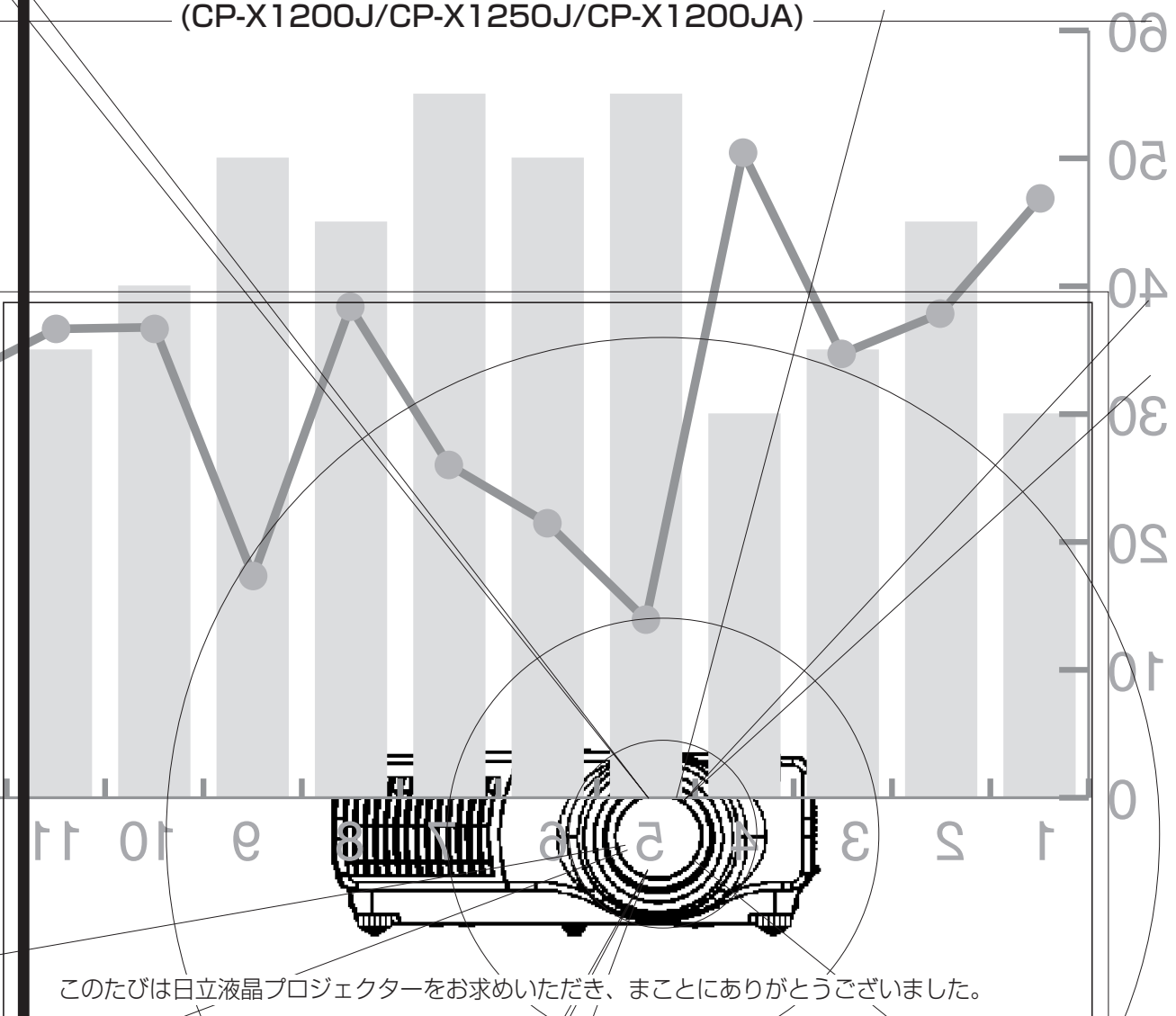
Inspire the Next

液晶プロジェクター

型名 **CP-X1200/CP-X1250**

(CP-X1200J/CP-X1250J/CP-X1200JA)

取扱説明書

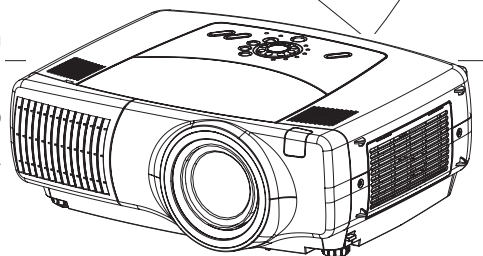


このたびは日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管してください。

商標について：

- ・ PS/2、VGA および XGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。
- ・ Apple、Mac および ADB は Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- ・ VESA および SVGA は Video Electronics Standard Association の商標です。
- ・ Window および Internet Explore は Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・ その他の社名および商品名等は各社の商標または登録商標です。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

はじめに

特長

本機は各種のコンピュータ信号および NTSC/PAL/SECAM 方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型液晶プロジェクターです。

● 高輝度・高性能

UHB ランプ、高効率光学系の採用、さらにプログレッシブスキャン、ノイズリダクション機能で、鮮明な映像を再現。

● 騒音低減機能

「静音」機能で本機使用時の騒音を低減。

● レンズシフト機能

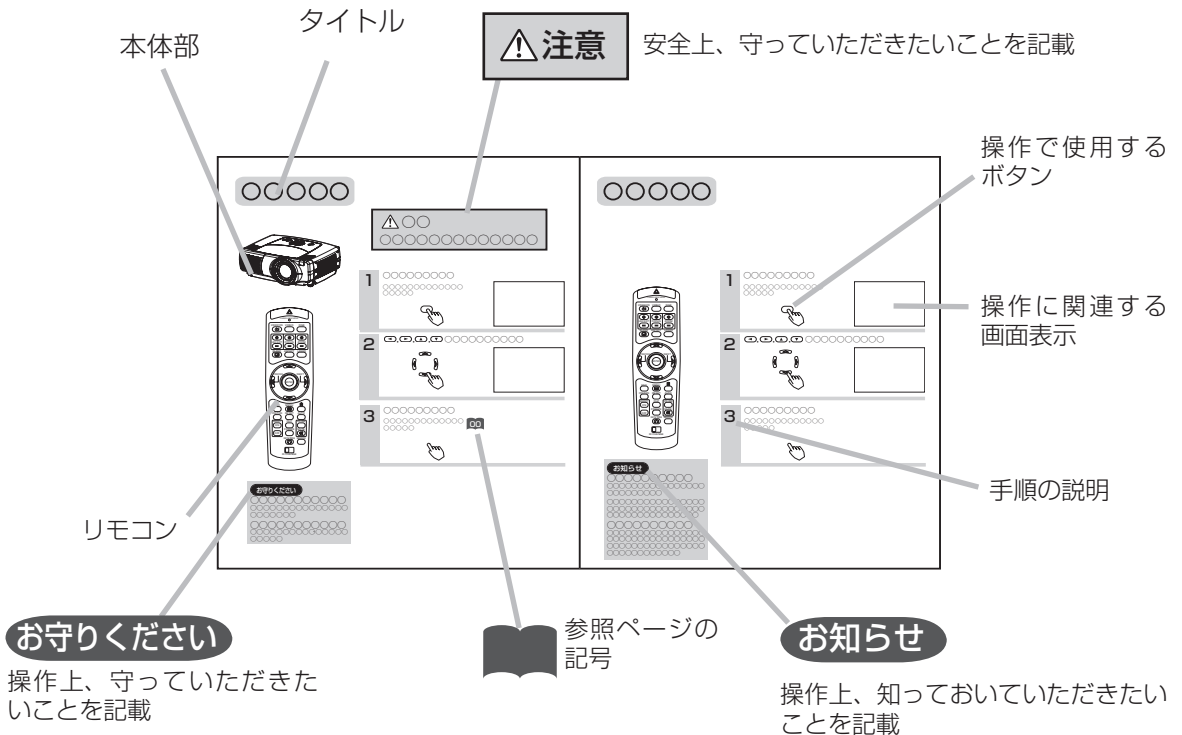
台形歪みを発生させない垂直方向レンズシフト機能で、優れた設置性を実現。

● ユーザー調節登録機能

「マイメモリー」機能で、最大 4 つの調節を保存。

本書の見かた

下図をご参考に本書をお読みください。



もくじ

はじめに

特長	2
本書の見かた	2
使用上のご注意	4
安全上のご注意	4
お守りください	8
付属品の確認	10
各部の名称	11
プロジェクター	11
操作パネル	12
リモコン	13

設 置

プロジェクターとスクリーンの配置	14
傾きの調節 (アジャスタを使う)	15
レンズ位置の調節 (レンズシフト機能を使う)	15
お持ちの機器との接続	16
パソコンに接続する	17
DVD プレーヤやビデオに接続する	18
モニターを接続する	19
スピーカーを接続する	19
電源コードの接続	20

リ モ コ ン

レーザーポインタについて	21
電池の入れかた	22
リモコン操作について	23
リモート ID 機能の使いかた (複数のプロジェクターを使い分ける)	23
パソコン画面の操作 (マウス/ キーボード・コントロール機能を使う)	24

基 本 操 作

電源の入れかた、切りかた	25
電源を入れる	25
電源を切る	26
入力信号を選ぶ	27
画面の縦横比を選ぶ	28
画面を自動調整する	28
画面の位置を調節する	29
台形歪みを補正する	29
音量を調節する	30
音声を一時的に消す	30
画面を一時的に消す	30
画像を静止させる	31

画面を拡大する	31
子画面を表示する (PinP 機能を使う)	32
音声信号を選ぶ	32

メニュー操作

メニュー機能の使いかた	33
メインメニュー	34
映像1メニュー	35
映像2メニュー	37
入力メニュー	38
オートメニュー	40
スクリーンメニュー	41
マイスクリーンを登録する	42
その他メニュー	43
ネットワークメニュー	45
ネットワークについて	46

お手入れ

ランプ	47
ランプについてのご注意	47
ランプを交換する	48
エアフィルター	49
エアフィルターを掃除 / 交換する	49
その他のお手入れ	50
プロジェクター内部のお手入れについて	50
レンズのお手入れ	50
キャビネット、リモコンのお手入れ	50

付 録

外形寸法	51
コンピュータ信号について	52
対応信号例	52
初期設定信号	53
入出力端子について	54
RS-232C 通信について	56
ケーブルの接続	56
通信設定	56
RS-232C コマンド一覧	58

ご 参 考

故障かな?と思ったら	65
メッセージについて	65
インジケータランプについて	67
故障と間違えやすい現象について	69
仕 様	71
保証とアフターサービスについて	72
ユーザー登録のご案内	73
お客様ご相談窓口	73

はじめに

設 置

リモコン

基本操作

メニュー操作

お手入れ

付 録

ご参考

使用上のご注意

ご使用のまえに

ご使用にまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので予めご了承ください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。





注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

絵表示の意味

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

 「破裂注意」

 してはいけません。「禁止」を示します。

 「分解禁止」

 必ず行う。「強制」を示します。

 「電源プラグをコンセントから抜くこと」

安全上のご注意



警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く



煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする、本機および電源コード、ケーブル類などに損傷がある、本機の内部に異物（水、金属など）が入った、などの異常や故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

電源プラグをすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様コンセントから抜くことによる修理は危険ですので絶対におやめください。

●電源プラグはすぐに抜くことができるように設置する。

■子供やペットに注意する



本機や付属品（リモコン、電池など）の取扱いを誤ると、火災、感電、けが、火傷、視力障害などの原因となります。お子様やペットのいる場所でのご使用や保管には、十分注意してください。

警告

■異物や液体を入れない



内部に金属類などの異物や水などの液体が入ると、**火災、感電の原因**となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 風呂場やシャワー室、屋外や水辺など、ぬれるところに置かない。
- 花瓶、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを近くに置かない。
- 金属や、燃えやすいものなどを近くに置かない。
- 本機を付属品や信号ケーブル、コネクタ以外のものと一緒に箱やバッグに入れない。

■分解したり、改造したりしない



内部には電圧の高い部分があり、**火災や感電、故障の原因**となります。

内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

分解禁止

■衝撃を与えない



落としたりぶつかけたりすると、**けがや破損、故障の原因**となり、そのまま使用すると**火災、感電の原因**となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

■不安定な場所に置かない



落ちたり倒れたりすると、**けがや破損、故障の原因**となり、そのまま使用すると**火災、感電の原因**となります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所、振動の多い場所など不安定なところに置かない。
- キャスター（車）付きの台にのせる場合はキャスター止めをする。
- 本体の側面が下向きや、レンズが上向き、下向きには置かない。
- 天井り設置や通常と異なる設置については、必ず事前に販売店に相談する。

■高温に注意する



使用中や使用後しばらくは、本機の**レンズや通風口から出る空気は高温**になり、**火災、火傷の原因**となります。また、**内部の温度が上がりすぎると故障の原因**となることがあります。

- 使用中や使用後しばらくはレンズや通風口の付近に触れない。
- 風通しの良い場所に、周囲の壁や物から 30cm 以上離して設置する。
- 金属などの熱が伝わりやすいものや、燃えやすいもの、熱に弱いものの上や近くで使用しない。
- レンズや通風口の近くに物を置かない。
- 通風口を塞がない。
- 通風口のある面を下にして置かない。
- テーブルクロスや布などをかぶせない。
- カーペットや布団の上に置いて使用しない。

■レンズをのぞかない



ランプの点灯中は強い光が投射されていますので、**視力障害などの原因**となります。

絶対にのぞかないでください。

■レーザー光を目に当てない



レーザー光を直接のぞき込んだり、他の人やペットに向けたりしないでください。

レーザー光が目にあたると**視覚障害などの原因**となります。

お子様にはリモコンを使わせないでください。

■指定（本体に表示）の電源電圧で使用する



指定の電源電圧以外でのご使用は、**火災、感電の原因**となります。

必ず指定電圧の電源コンセントを使用してください。

⚠ 警 告

■電源は正しく接続する



電源コードの取扱いを誤ると火災、火傷の原因となります。

本機に付属の電源コードを、正しくご使用ください。

- ぬれた手で電源コードや電源プラグアダプタに触れない。
- 電源プラグや電源プラグアダプタの周辺に付着したほこりや金属類は、接続まえに乾いた布で拭き取る。
- 電源プラグや電源プラグアダプタは根元まで確実に差し込む。ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しない。

■アース線は必ず接続する



アース線を必ず接続すること

アース線を接続しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。必ず接地を行ってください。

電源コードは必ず本機に付属のものをご使用ください。2つ穴プラグのコンセントを使用する場合は付属の電源プラグアダプタをご使用ください。電源プラグアダプタは、必ず、電源プラグを電源につなぐ前に、アース線を接続してご使用ください。また、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

■ランプの取扱いに注意する



破裂注意

本機は、ガラス製で寿命のある高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると火傷の原因や、破裂してけがの原因となります。

ランプの取扱いについては必ず本書の「ランプ」の項をお読みください。ランプ交換の際は本書の「仕様」の項に記載の交換用ランプの型名をご確認のうえ、販売店にご連絡ください。

- ランプに衝撃を与えたり、傷つけたりしない。
- ランプ交換は高温状態で行わない。電源スイッチを切って十分冷ましてから行う。
- 交換用ランプは、本書に指定の、新しい(未使用)ランプを使う。
- 廃棄は、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従って正しく行う。

■電源コードや接続ケーブルを傷つけない



損傷のある電源コードや接続ケーブルを使用すると火災、感電の原因となります。

電源コードや接続ケーブルに損傷がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

- 本機や重いものを載せない。
- ケーブル部分を持って引っ張らない。
- 加熱しない。本機のレンズや通風口、ヒータなどの発熱源の近くには置かない。
- 無理に曲げたり、加工したりしない。

■電池の取扱いに注意する



電池(リモコン用)の取扱いを誤ると火災や人体への傷害の原因、破裂してけがや周囲の汚染の原因となります。

電池交換の際は、必ず本書の「リモコンの使いかた」の項をお読みください。

- 電池は子供やペットの届かないところに保管する・万一、飲み込んだりした場合はすぐに医師に相談する。
- 電池を火や水の中に入れない。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥した場所に保管する。
- 電池に衝撃を与えたり、傷つけたりしない。分解、半田付けなど、加工しない。
- 電池を充電したり短絡したりしない。電池をピンセットなどの金属製の物で持たない。
- 交換電池は、本書に指定の、新しい(未使用)電池を使う。
- 電池を入れるときは、リモコンの極性表示(、)に注意して正しく入れる。
- 電池が液漏れした場合は、漏れ液を布などで拭き取って新しい電池に交換する。漏れ液には直接触れない。皮膚や衣服に付いてしまった場合は水でよく洗浄する。
- 廃棄は、廃棄を行う地域の規則(条例など)に従って正しく行う。

⚠ 注 意

■ 移動や運搬のときに衝撃を与えない



落としたりぶつかけたりすると、けがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

落としたりぶつかけたりしないように注意してください。

- 使用中や使用後しばらくは移動しない。使用後の移動は本機を十分冷ましてから行い、移動の際は予め電源コードやケーブルの接続を外す。
- 移動時はレンズキャップを取り付ける（またはレンズドアを閉じる）。
- 本機やケーブルを投げたり、引きずったりしない。
- ソフトケースなどが付属されている製品の移動にはこれを使用する。
- 引越しや修理などで搬送する場合は、本機用の梱包材を使用する。

■ 本機の上に乗ったり、物をのせたり、ぶら下げたりしない



不安定になって落ちたり倒れたりすると、けがや火傷、破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

- 指定のもの以外は取り付けたり、ぶら下げたりしない。

■ 湿気やホコリの多いところ、 煙草の煙や油煙、湯気などがあたる場所に置かない



火災、感電の原因となったり、故障や不具合の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器の近くに置かない。
 - 喫煙所や、喫煙者のいるところに置かない。
- * 人通りの多い場所など、煙草の煙やホコリが心配される環境でのご使用は、事前に販売店へご相談ください。機種により、別売の専用エアークリーンフィルターなどがある場合はこれをご使用ください。

■ 高温になるところに置かない



火災、感電の原因やキャビネットが傷む原因となることがあります。

- 直接日光の当たるところ、ヒータなどの発熱源の近くには置かない。

■ 使用しないときは電源プラグを抜く



電源の完全な切断のためには電源スイッチを切るだけでなく電源プラグを抜いてください。

- 長時間使用しないときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。
- お手入れやランプ交換のときなどは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜く。

電源プラグを
コンセントか
ら抜くこと

■ 2年に1度は内部のお手入れを販売店に依頼する



内部にホコリがたまった状態で使用し続けると、火災、感電の原因となることがあります。

内部にお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

お客様による内部のお手入れは危険ですのでおやめください。

お守りください

■リモコンに衝撃を与えないでください

破損や故障の原因となることがあります。

- リモコンを投げたり、落としたりしないでください。
- リモコンに重い物を載せないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれるところに置いたりしないでください。

■レンズの取扱いにご注意ください

レンズが傷つくと破損や故障の原因となることがあります。くもりや汚れは画像品質に悪い影響を及ぼすことがあります。

- 使用しないときはレンズキャップを取り付けて（またはレンズドアを閉じて）ください。
- レンズには直接手を触れないでください。
- レンズのお手入れは市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）で行ってください。レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。
- 指定のもの（コンバージョンレンズなど）以外は取り付けしないでください。

■エアーフィルターのお手入れについて

エアーフィルターがホコリや汚れでつまると、内部温度が上昇して故障の原因となることがあります。内部温度の上昇を防ぐために電源が自動的に切れたり、「吸気口をチェックしてください」などのメッセージが表示されたりすることがあります。

本書の「エアーフィルターについて」の項をお読みのうえ、正しくお手入れを行ってください。エアーフィルターが損傷したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。交換の際は本書の「仕様」の項に記載の交換用エアーフィルターの型名をご確認のうえ、販売店にご連絡ください。

- ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください。交換用ランプをご購入になると、交換用エアーフィルターが付属されている場合があります。
- エアーフィルターを外した状態で電源を入れないでください。

■キャビネット、リモコンのお手入れ

誤った取扱いは表面の変質や塗装がはがれる原因となることがあります。

お手入れは、ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、やわらかい布を水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞り、軽く拭いた後、別の乾いた軟らかい布で軽く拭いて仕上げてください。中性洗剤の原液は使用しないでください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、溶剤、研磨剤などは使用しないでください。
- スプレーは使用しないでください。
- ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。
- 科学ぞうきんのご使用については、その注意書に従ってください。

■結露にご注意ください

本機を低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機内部の投射レンズやミラーに結露が生じ、画面がぼやけたり見えなくなったりすることがあります。

本機が周囲の温度に慣れるに従い、露が消えて画像は正常に戻ります。

■強い光を避けてください

直射日光や照明などの強い光がリモコン受光部に当たると、リモコン操作が正常に働かない場合があります。

- 光源は本機から遠ざけてください。

■電波を発生するものを避けてください

本機の近く電波を発生する装置を使用すると、画像が乱れたり、スピーカーから雑音が発生したりする原因となることがあります。

- 携帯電話やトランシーバなどは本機から離れてご使用ください。

■ノートパソコンとの接続について

ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンのRGB外部映像出力を有効(LCDとCRTの同時表示またはCRTの設定)にしてください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

■電源を入れる順序、電源を切る順序について

接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、本機の電源を入れるときはパソコンやビデオより先に、本機の電源を切るときはパソコンやビデオより後に、行ってください。

■映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投映装置です。投映面(スクリーンや壁面)の特性により、画像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニタとは異なることがあります。

●偏光スクリーンは使用しないでください。画面が赤味を帯びて見える場合があります。

■液晶パネルの焼きつきにご注意ください

本機は液晶パネルを使用した投映装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルと異なる縦横比の映像(例:「仕様」の項に記載の液晶パネルの仕様が4:3の場合は縦横比が4:3以外の映像)などを長時間または繰り返し投射すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残る場合があります。この場合は画面全体を白くして1時間以上投射し続けてください。

*白画面の表示にはブランク機能(「画面を一時的に消す」の項ご参照)をご利用ください。

■耀点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投映装置です。画面中に耀点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

■寿命部品について

光学部品(ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS(Polarized Beam Splitter)、コントラストアップフィルム)および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになる場合は修理交換が必要になります。

■目の疲れにご注意ください

長時間のご使用は目が疲れる原因となります。ときどき画面から離れて目を休めてください。

■適度な音量でご使用ください

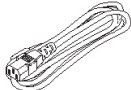
隣近所へ十分配慮して、適度な音量で使用してください。特に夜間は小さな音でもとおりやすいので、窓を閉めたり音量を下げたりして、生活環境を守りましょう。

お使いになる前の準備

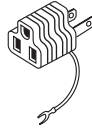
はじめに付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

お守りください

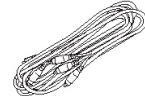
- 取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解のうえ、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。
- 梱包材は大切に保管してください。修理や引越しなど、輸送にはお買い上げ時の梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズまわりの梱包にはご注意ください。



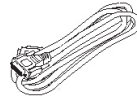
電源コード



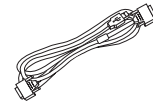
電源プラグアダプタ



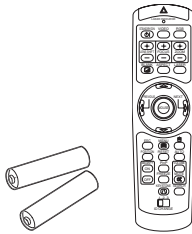
AUDIO/VIDEO
ケーブル



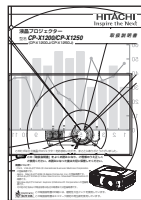
RGB ケーブル



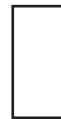
M1-D ケーブル



リモコン
単 3 形乾電池 × 2 個
(リモコン用)



取扱説明書
(本書)



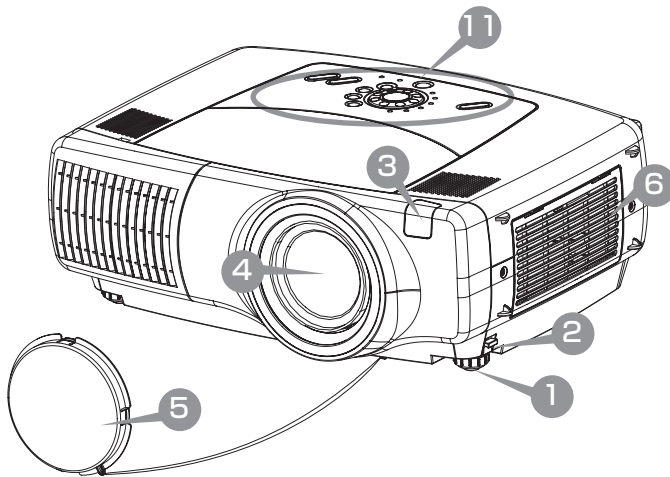
保証書

各部の名称

プロジェクター

内の数字は、参照ページです。

はじめに



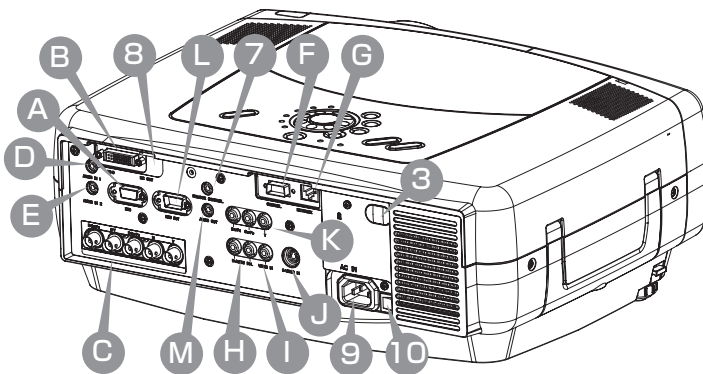
- 1 アジャスタ 15
左右両側にあります。
- 2 アジャスタボタン 15
左右両側にあります。

△注意 ●アジャスタボタンを押すとアジャスタの固定がはずれます。アジャスタボタンは、必ずプロジェクターを保持しながら押してください。

- 3 リモコン受光部 23
リモコンからの信号はここから受信されます。前面と背面の2箇所にあります。
- 4 レンズ 15 25
ここから映像が投射されます。

△警告 ●ランプ点灯中は強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、レンズを覗きこまないでください。

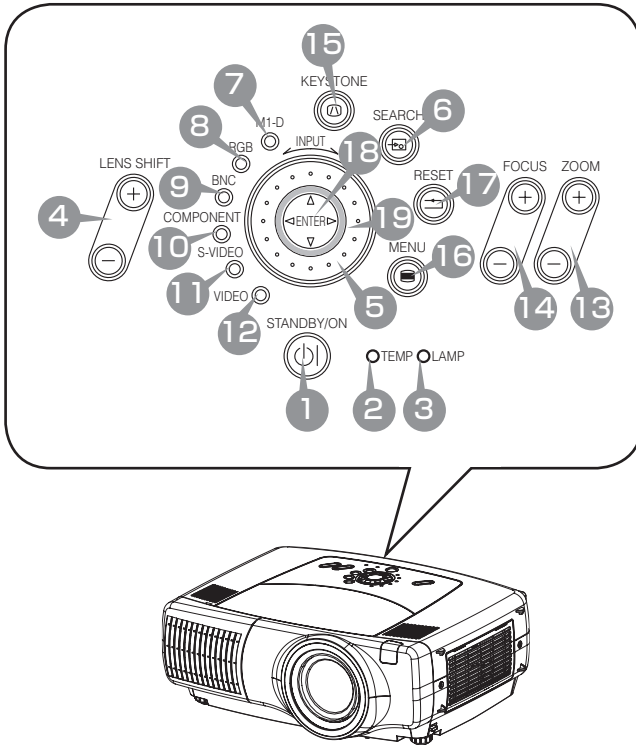
- 5 レンズキャップ 25
- 6 フィルターカバー 49
内側にエアフィルターがあります。
- 7 REMOTE CONTROL 端子 23
- 8 DC OUT 端子
- 9 AC インレット 20
- 10 電源スイッチ 24
- 11 操作パネル (次頁ご参照)



入力端子 16 ~ 19

- A RGB 端子
- B M1-D 端子
- C BNC 端子
- D AUDIO IN 1 端子
- E AUDIO IN 2 端子
- F CONTROL 端子
- G NETWORK 端子
- H AUDIO IN R/L 端子
- I VIDEO IN 端子
- J S-VIDEO IN 端子
- K COMPONENT 端子
- L RGB OUT 端子
- M AUDIO OUT 端子

操作パネル



- 1 STANDBY/ON ボタン 25
(STANDBY/ON インジケータ)
- 2 TEMP インジケータ 67
- 3 LAMP インジケータ 67
- 4 LENS SHIFT ボタン 15
- 5 INPUT ダイヤル 27
- 6 SEARCH ボタン 27

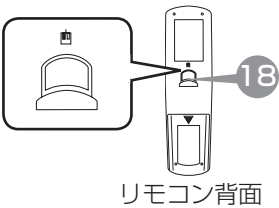
- 7 M1-D インジケータ 25
- 8 RGB インジケータ 25
- 9 BNC インジケータ 25
- 10 COMPONENT
インジケータ 25
- 11 S-VIDEO インジケータ 25
- 12 VIDEO インジケータ 25
- 13 ZOOM ボタン 27
- 14 FOCUS ボタン 27
- 15 KEYSTONE ボタン 29
- 16 MENU ボタン 33
- 17 RESET ボタン 33
- 18 ENTER ボタン 33
- 19 カーソル▲ / ▼ / ◀ / ▶
ボタン 33

リモコン

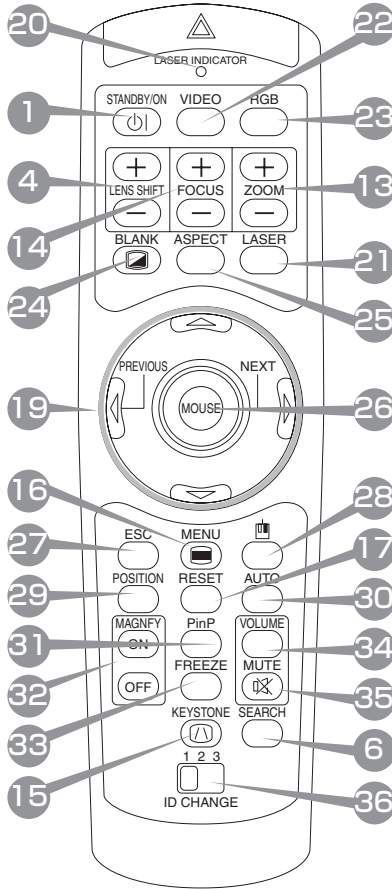
LASER ボタンを押すと、ここからレーザー光が出ます。



- 1 STANDBY/ON ボタン 25
- 4 LENS SHIFT ボタン 15
- 6 SEARCH ボタン 27
- 13 ZOOM ボタン 27
- 14 FOCUS ボタン 27
- 15 KEYSTONE ボタン 29
- 16 MENU ボタン 33
- 17 RESET ボタン 33
- 18 ENTER ボタン 33
(Ⓜ マウス・左ボタン 24)



- 19 カーソルボタン 33
(キーボード矢印キー
↑ ↓ ← → 24)



- 20 LASER インジケータ 21
- 21 LASER ボタン 21
このボタンを押している間、レーザー光がでます。
- 21 警告 ●レーザー光が目にあたると視覚障害などの原因となります。レーザー光を直接覗きこんだり他の人やペットに向けたりしないでください。
- 21 VIDEO ボタン 27
- 23 RGB ボタン 27
- 24 BLANK ボタン 30
- 25 ASPECT ボタン 28
- 26 カーソルボタン (MOUSE) 23
(Ⓜ マウスポインタ)
- 27 ESC ボタン 33
(キーボード [ESC] キー)
- 28 Ⓜ マウス・右ボタン 24
- 29 POSITION ボタン 29
- 30 AUTO ボタン 28
- 31 PinP ボタン 32
- 32 MAGNIFY ボタン 31
- 33 FREEZE ボタン 31
- 34 VOLUME ボタン 30
- 35 MUTE ボタン 30
- 36 ID CHANGE スイッチ 23
- 37 ワイヤードリモコン端子 23

設 置

⚠ 警告

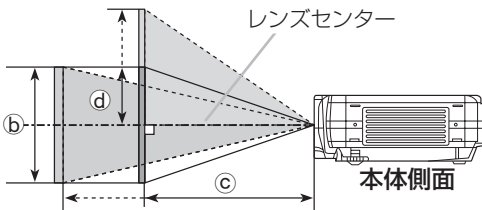
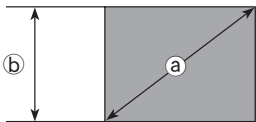
- 設置のまえに、本書の「使用上のご注意」**4**をよくお読みください。誤った設置場所や、設置作業は、火災、感電、けがなどの原因となります。十分ご注意ください。
- 設置や移動の際は、初めに、本機および接続する機器の電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。
- 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。

プロジェクターとスクリーンの配置

下図および下表をご参考に、画面サイズと投射距離を決めてください。
 表中はフルサイズ（1024 × 768）の場合の参考値（± 10%）です。

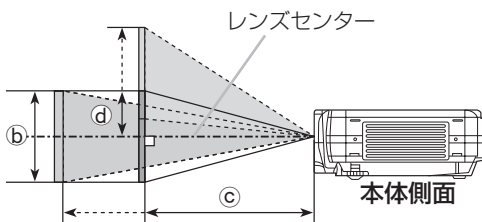
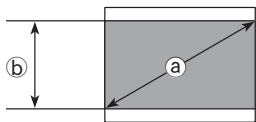
- ①： 投映面（スクリーン）の対角寸法
- ②： 投映面（スクリーン）の縦寸法
- ③： プロジェクターのレンズから投影面（スクリーン） 端までの距離
- ④： プロジェクターのレンズセンターから投影面（スクリーン） 上端までの長さ

4:3 スクリーンのとき



① インチ [m]	② [cm]	③ [m]		④ [cm]	
		最小	最大	最小	最大
40 (1.0)	61	1.2	1.8	30	61
60 (1.5)	91	1.8	2.7	46	91
70 (1.8)	107	2.1	3.2	53	107
80 (2.0)	122	2.4	3.7	61	122
100 (2.5)	152	3.0	4.6	76	152
120 (3.0)	183	3.7	5.5	91	183
150 (3.8)	229	4.6	6.9	114	229
200 (5.1)	305	6.2	9.2	152	305
250 (6.4)	381	7.7	11.6	191	381
300 (7.6)	457	9.3	13.9	229	457
350 (8.9)	533	10.9	16.2	267	533
400 (10.2)	610	12.4	18.5	305	610
500 (12.7)	762	15.5	23.2	381	762

16:9 スクリーンのとき



① インチ [m]	② [cm]	③ [m]		④ [cm]	
		最小	最大	最小	最大
40 (1.0)	50	1.3	2.0	25	58
60 (1.5)	75	2.0	3.0	37	87
70 (1.8)	87	2.3	3.5	44	102
80 (2.0)	100	2.6	4.0	50	116
100 (2.5)	125	3.3	5.0	62	145
120 (3.0)	149	4.0	6.0	75	174
150 (3.8)	187	5.0	7.5	93	218
200 (5.1)	249	6.7	10.1	125	291
250 (6.4)	311	8.4	12.6	156	363
300 (7.6)	374	10.1	15.1	187	436
350 (8.9)	436	11.8	17.7	218	508
400 (10.2)	498	13.5	20.2	249	581
450 (11.4)	560	15.2	22.7	280	654

傾きの調節（アジャスタを使う）

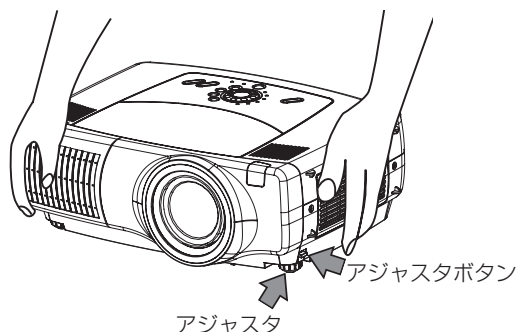
⚠ 警告

- 使用中や使用後の高温状態で本機を移動したり、本機のレンズや通風口付近に触れたりしないでください。火傷や故障の原因となります。

⚠ 注意

- アジャスタボタンを押すときは、必ず本機を保持してください。本機が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。

設置面やスクリーンなどに傾きがある場合などはアジャスタを使って調節してください。角度は 0° ～ 10° の範囲で調節できます。



1 アジャスタボタンを押す

アジャスタボタンは本体の両側（前より下部）にあり、押すと各々の側のアジャスタが解放されます。本体を両側からきちんと支えながら、アジャスタボタンを押してください。

2 位置を決める

本体の位置や角度を決めたら、本体をその位置で支えたままアジャスタボタンを放します。アジャスタが固定されたのを確認し、本体から手を放してください。

3 微調節する

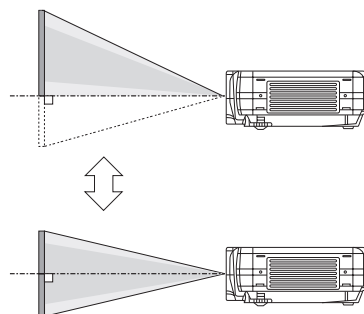
アジャスタはネジのように回すと、高さを微調節できます。必要に応じて調節してください。

レンズ位置の調節（レンズシフト機能を使う）

本機では、レンズ部の垂直位置を、プロジェクターの操作パネルまたはリモコンの LENS SHIFT（レンズシフト）ボタンで微調節することができます。

プロジェクターの操作パネルで

リモコンで



お持ちの機器との接続

⚠ 警告

- 接続のまえに、本書および接続する機器の説明書をよくお読みください。誤った接続や作業は、火災、感電、けが、故障などの原因となります。

⚠ 注意

- 接続の際は、初めに、本機および接続する機器の電源を切り、電源コードを抜いてください。電源を入れた状態で接続すると、大きな音が出たり故障の原因となったりすることがあります。

お守りください

- 接続のまえに、コネクタや端子の仕様を確認してください。本機の入出力端子や RS-232C 通信については、「付録」51 をご覧ください。
- 接続ケーブルは付属品または所定のものを使用してください。片端にだけコアのついたケーブルは、コアの付いている方を本機に接続してください。
- D サブコネクタの接続はネジできちんと固定してください。
- ノートパソコンと接続する場合は、ノートパソコンの RGB 外部映像出力を有効に (LCD と CRT 同時表示、または CRT 表示に設定) してください。詳しくはパソコンの説明書をご覧ください。

お知らせ

- コンピュータが複数の表示モードを持っている場合には、本機が対応できないモードが含まれる場合があります。
- Apple コンピュータとの接続には、別売の Mac アダプタが必要な場合があります。
- コンピュータ上で解像度を切り替えるとき、入力信号によっては、本機の自動調整機能が正常に動作しなかったり、通常より時間が掛かったりして、解像度切り替えのための画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の CRT ディスプレイや TFT ディスプレイなどを使って解像度を切り替えてください。

● プラグ&プレイについて

プラグ&プレイは、コンピュータと、表示装置を含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。本機は VESA DDC 1/2B に対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) 対応のコンピュータに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。

- ・ 本機の RGB 端子とコンピュータを付属の RGB ケーブルで接続してご使用ください。
- ・ 本機は「プラグ&プレイモニター」として認識されます。この際、ディスプレイドライバは標準のものをご使用ください。
- ・ 接続するコンピュータによっては、プラグ & プレイが動作しない場合があります。

パソコンに接続する

下記をご参考に、お手持ちの機器と本機を接続してください。入出力端子は本体の背面にあります。



パソコン



プロジェクター



RGB 出力



RGB ケーブル



RGB



音声出力



オーディオケーブル
(ステレオミニ)



AUDIO IN 2



RS-232C 端子



RS-232C
ケーブル



CONTROL



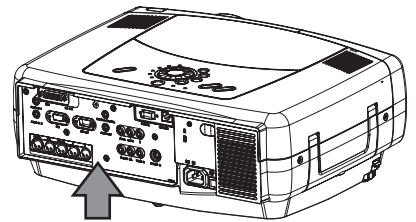
ネットワーク端子



CAT-5
ケーブル



NETWORK



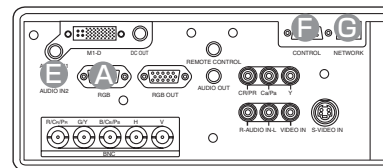
設
置

A

E

F

G



■ M1-D 入力の場合



DVI 端子



USB 端子



M1-D
ケーブル



M1-D



音声出力



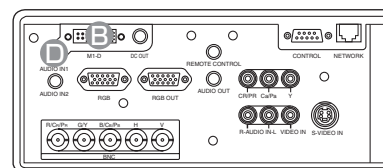
オーディオケーブル
(ステレオミニ)



AUDIO IN 1

B

D



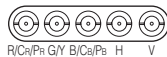
■ BNC 入力の場合



RGB 出力



BNC
ケーブル



R/CR/PR
G/Y
B/CB/PB
H
V



音声出力



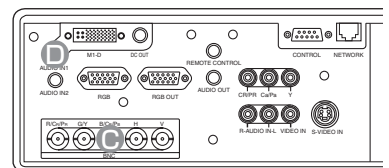
オーディオケーブル
(ステレオミニ)



AUDIO IN 1

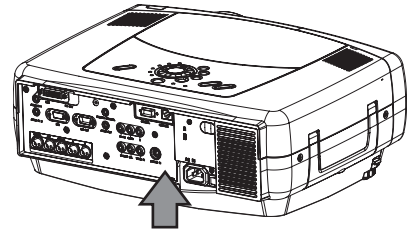
C

D



DVD プレーヤーやビデオに接続する

下記をご参考に、お手持ちの機器と本機を接続してください。入出力端子は本体の背面にあります。

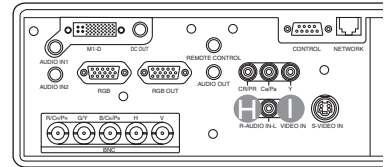


VCR/DVD プレーヤー / ビデオ

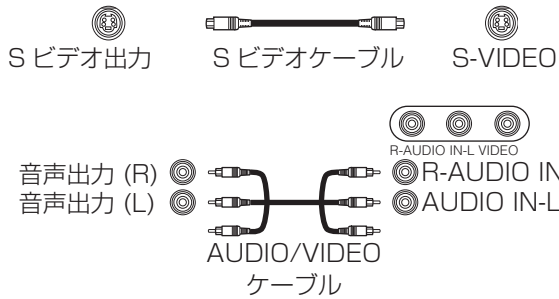
プロジェクター



H
I

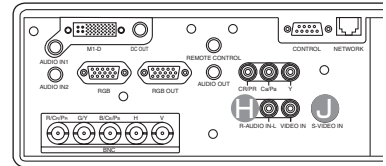


■ S ビデオ入力の場合

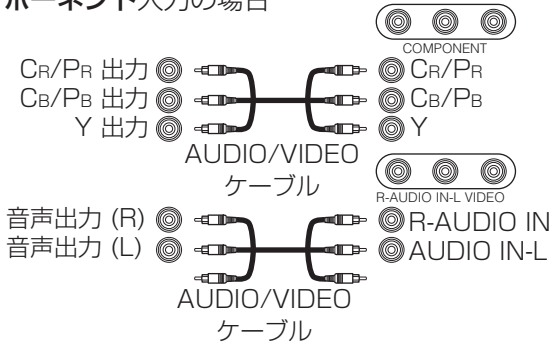


J

H

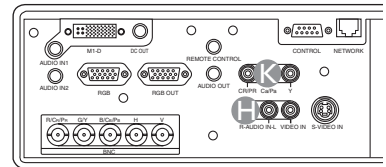


■ コンポーネント入力の場合

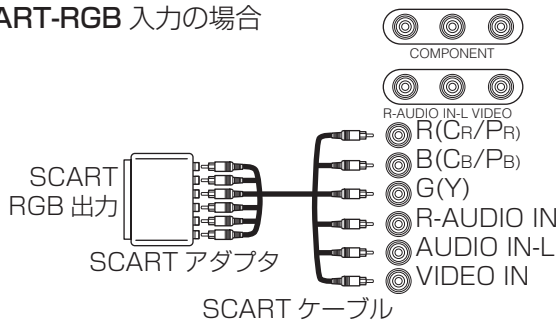


K

H

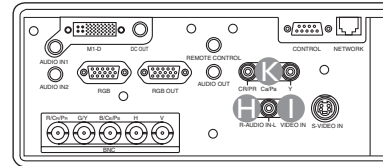


■ SCART-RGB 入力の場合



K

H
I



モニタを接続する



モニタ



RGB 入力



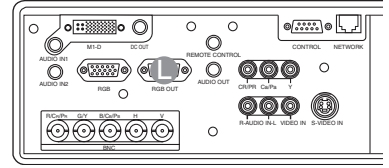
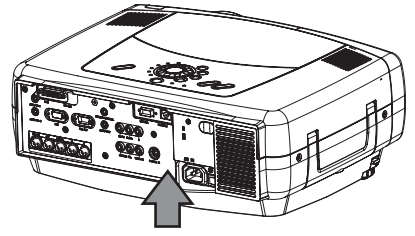
RGB ケーブル

プロジェクター



RGB OUT

L



設
置

スピーカーを接続する



スピーカー



音声入力



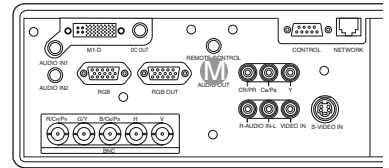
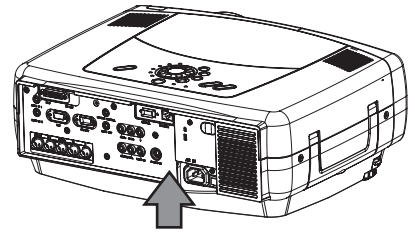
AUDIO ケーブル
(ステレオミニ)

プロジェクター



AUDIO OUT

M



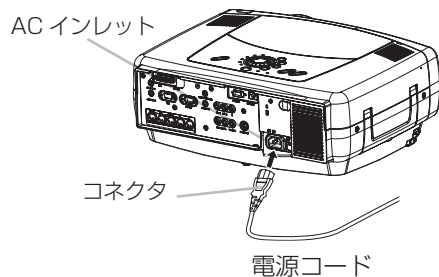
電源コードの接続

⚠ 警告

- 設置のまえに、「使用上のご注意」をよくお読みください。誤った電源接続や、誤った電源コードの取扱いは、火災、感電、故障、けがなどの原因となります。
- 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
- 必ず指定電圧の電源コンセントを使用してください。
- 本機に付属の電源コードを、正しくご使用ください。2つ穴プラグのコンセントを使用する場合は、付属の電源プラグアダプタをご使用ください。付属品に損傷や不具合が疑われる場合はそのまま使用せず、販売店にご連絡ください。
 - ・ ぬれた手で電源コードや電源プラグアダプタに触れない。
 - ・ 電源プラグや周辺に付着したホコリや金属類は、接続まえに乾いた布で拭き取る。
 - ・ 電源コードや電源アダプタを分解したり改造したりしない。
- 必ず接地を行ってください。電源プラグアダプタは、先にアース線を接続してから電源コンセントに接続してください。またアース線の接続を外すときは、先に電源かコンセントから抜いてから、行ってください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでご使用ください。ゆるみやがたつきのあるコンセントはご使用にならないでください

1 電源コードをプロジェクターに取り付ける

本体背面の AC インレットに、電源コードのコネクタ側を差し込んでください。



2 電源プラグをコンセント接続する

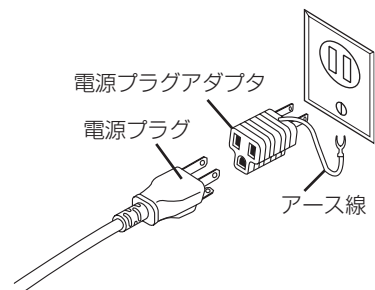
3つ穴コンセントを使用する場合

電源コンセントの電圧を確認し、電源コードのプラグ側を差し込んでください。



2つ穴コンセントを使用する場合

- ① 電源プラグアダプタのアース線を接地してください。
- ② 電源コンセントの電圧を確認し、電源プラグアダプタをコンセントに差し込んでください。
- ③ 電源コードのプラグ側を、電源プラグアダプタに差し込んでください。



リモコン

⚠ 注意

- リモコンを分解したり改造したりしないでください。
- リモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。また、リモコンに水をかけたり、ぬれるところに置いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- リモコンを本体のレンズや通風口付近に置かないでください。リモコンが熱くなって、火傷の原因となることがあります。
- 本体のリモコン受光部には直接光があたらないようにしてください。直射日光などの強い光や至近距離からのインバータ蛍光灯の光が受光部に当たるとリモコン操作が正常に働かなくなることがあります。

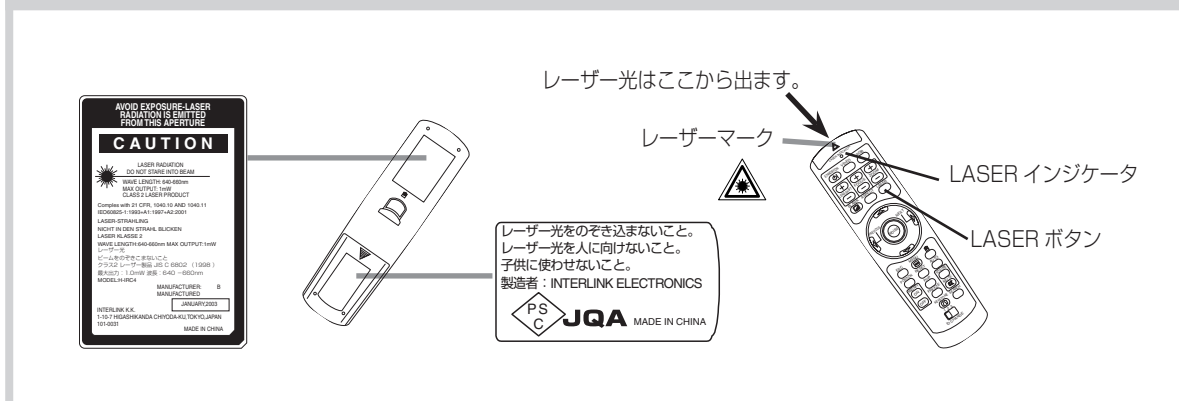
レーザーポインタについて

⚠ 警告 レーザー光を目に当てない

- レーザー光を直接覗き込んだり、他の人やペットに向けたりしないでください。レーザー光が目にあたると視覚障害などの原因となります。お子様にはリモコンを使わせないでください。

⚠ 注意

- レーザーポインタは指し棒の代わりにご使用ください。他の目的ではご使用にならないでください。



リモコンのLASER（レーザー）ボタンを押すとレーザー光が発光し、LASER インジケータが点灯します。スクリーンに向けて指し棒の代わりにご使用ください。

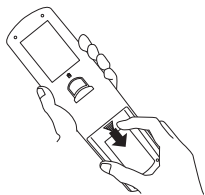
電池の入れかた

⚠ 注意

- 電池は正しく取り扱ってください。誤った取扱いは電池の破裂、液漏れの原因となり、火災、けが、周囲の汚染などの原因となることがあります。
- 電池はお子様やペットの届かないところに保管してください。
- 電池は所定のもの（単3形乾電池 x2 個）をご使用ください。また、古い（既に使用した）電池と新しい電池を一緒にはご使用にならないでください。
- 電池をリモコンに入れるときは、リモコンの極性表示（+）と（-）を確認し、表示に従って正しく入れてください。
- 電池を廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。
- 長い期間ご使用にならない場合は、電池をリモコンから出して、適切な場所へ保管してください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、電池を交換してください。

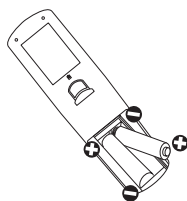
1 電池ケースを開ける

右図を参考に、リモコンの背面にある電池ケースのカバーを外してください。



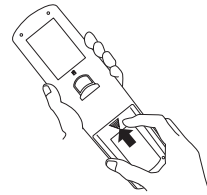
2 電池を入れる

電池ケースの中の極性表示（+）（-）を確認し、表示に合わせて、新しい電池を入れてください。



3 電池ケースを閉める

電池ケースのカバーを、外したときと逆の要領で取り付けてください。

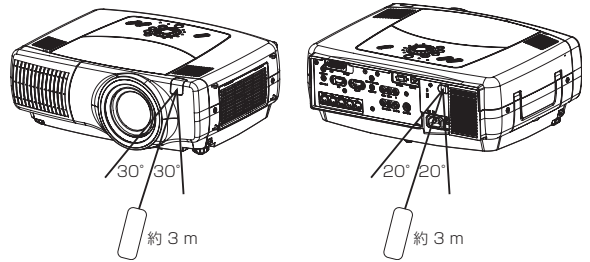


リモコン操作について

リモコンは、プロジェクター前面および背面にある受光部へ信号を送ってプロジェクターを操作します。

前面受光部：正面から約 3m、左 30 度、右 30 度の範囲から操作できます。

背面受光部：正面から約 3m、左 20 度、右 20 度の範囲で操作できます。



お知らせ

- リモコン信号は、スクリーンなどへ反射させて受光部へ送信することもできます。ただし、反射面によってはうまく操作できない場合があります。
- リモコンは赤外線でプロジェクターに信号を送っています。(クラス 1 LED 製品) リモコンとプロジェクターのリモコン受光部の間に障害物があると信号が届かなくなりますので、ご注意ください。
- ワイヤードリモコンについて
本機の背面にある REMOTE CONTROL 端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を AUDIO ケーブル (φ 3.5 ステレオミニプラグ付きケーブル) で接続すると、有線リモコンとしてご使用になれます。接続端子を誤ると故障の原因となることがありますのでご注意ください。



リモート ID 機能の使いかた (複数のプロジェクターを使い分ける)

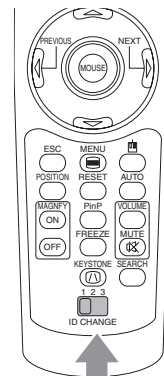
本機を 2 台または 3 台同時にご使用になるとき、各々のリモコンが指定のプロジェクターだけに利くように ID を設定することができます。

1 プロジェクターの ID を設定する

「メニュー機能」-「その他メニュー」の「リモコン ID」**43** に従って、プロジェクターの ID を設定してください。リモコン側の設定に関わらず、どのリモコンからでも操作したい場合は「ID 使用しない」に設定してください。

2 リモコンの ID を設定する

リモコンの ID CHANGE スイッチを切り替えて設定してください。ID が同じか、「ID 使用しない」に設定されているプロジェクターだけを操作することができます。



ID CHANGE
スイッチ

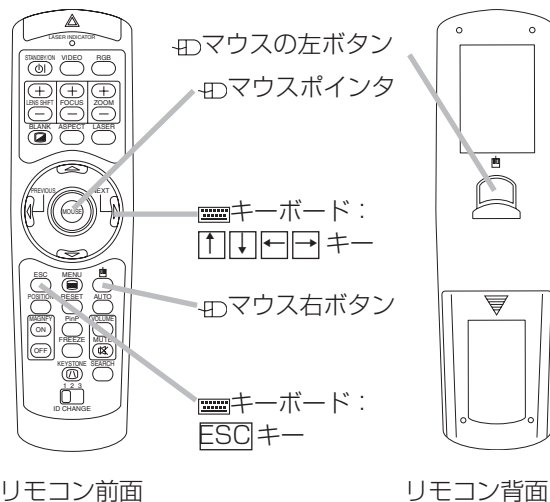
パソコン画面の操作 (マウス / キーボード・コントロール機能を使う)

⚠ 注意

- 本書および接続する機器の説明書をよくお読みください。誤った接続は、火災、感電、故障などの原因となります。
- ・ M1-D 端子はパソコン以外の機器に接続しないでください。
- ・ パソコンが動作中には接続ケーブルを抜き差ししないでください。

USB コントロール機能を使うと、リモコンを簡易的なマウスやキーボードの一部としてご利用になれます。

プロジェクターの M1-D 端子とパソコンを、M1-D ケーブルで接続してください。右図の操作ができます。



お知らせ

- 本機の USB コントロールは Windows 95 OSR 2.1 以上でご利用になれます。パソコンの設定やマウスドライバによってはご利用になれない場合があります。
- M1-D ケーブルでパソコンに接続されているとき、本機はマウスおよび HID (Human Interface Device) のキーボードとして認識されます。

基本操作

電源の入れかた、切りかた

電源を入れる

⚠ 注意

- 電源が入るとレンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、レンズを覗きこまないでください。

お知らせ

- 接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、パソコンやビデオより先に、本機の電源を入れてください。

1 電源コードの接続を確認する

電源コードや電源アダプタが正しく接続されていることを確認してください。「電源コードの接続」**20**をご参照ください。

2 レンズキャップをはずす

3 電源スイッチを入れる

本体背面の電源スイッチの、[I] (入れる) 側を押してください。STANDBY/ON インジケータが橙色に点灯します。

4 STANDBY/ON ボタンを押す

本体またはリモコンの STANDBY/ON ボタンを押してください。STANDBY/ON インジケータが緑色に点滅します。

STANDBY/ON インジケータが点滅をやめ、緑色に点灯するまでお待ちください。

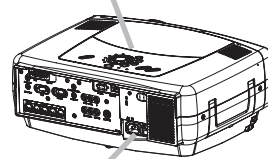
5 レンズの位置を調節する

必要に応じ、LENS SHIFT ボタンでレンズの垂直位置を調節してください。「設置」-「レンズ位置の調節」**15**をご参照ください。

6 入力信号を選ぶ

「入力信号を選ぶ」**27**をご参照ください。

STANDBY/ON
STANDBY/ON ボタン /
インジケータ



電源スイッチ
([I] (入れる))



STANDBY/ON
STANDBY/ON
ボタン / インジケータ

LENS SHIFT ボタン



LENS SHIFT

電源を切る

お知らせ

- 接続する機器のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合は、パソコンやビデオより後に、本機の電源を切ってください。

1 STANDBY/ON ボタンを押す

本体またはリモコンの STANDBY/ON ボタンを押してください。「電源を切りますか？」のメッセージが約 5 秒間表示されます。

2 もう一度 STANDBY/ON ボタンを押す

「電源を切りますか？」のメッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。投射ランプが消え、STANDBY/ON インジケータが橙色に点滅します。

STANDBY/ON インジケータが点滅をやめ、橙色に点灯するまでお待ちください。

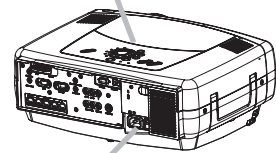
3 電源スイッチを切る

STANDBY/ON インジケータが点滅をやめ、橙色に点灯したことを確認して、本体背面の電源スイッチの、[○] (切る) 側を押してください。STANDBY/ON インジケータが消えます。

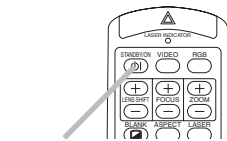
4 レンズキャップを閉じる

レンズ保護のため、レンズキャップを閉じてください。

STANDBY/ON STANBY/ON ボタン /
インジケータ



電源スイッチ
([○] (切る))



STANDBY/ON STANBY/ON
ボタン / インジケータ

入力信号を選ぶ

1 入力信号を選ぶ

■ INPUT ダイヤルを使う

本体の INPUT ダイヤルを回すと、下記の順で入力信号が切り替わります。投映したい信号を選んでください。



■ SEARCH ボタンを使う

本体またはリモコンの SEARCH ボタンを押すと、入力信号を自動的に探すことができます。下記の順で各端子の入力を順次検索し、正常な信号が見つかるとその映像を投映します。正常な信号が見つからないとボタンを押したときの状態に戻ります。



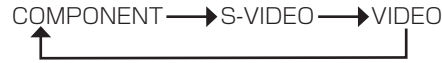
■ RGB ボタンを使う (RGB 信号選択)

リモコンの RGB ボタンを押すごとに、下記の順で入力信号が切り替わります。投映したい信号を選んでください。



■ VIDEO ボタンを使う (ビデオ信号選択)

リモコンの VIDEO ボタンを押すごとに、下記の順で入力信号が切り替わります。投映したい信号を選んでください。

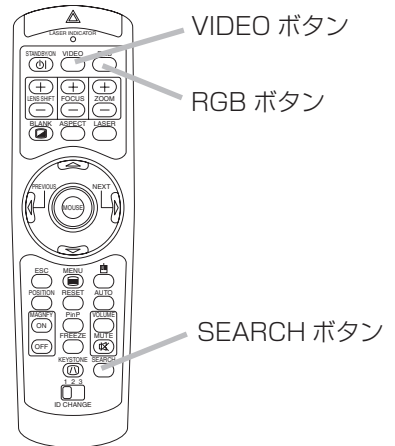
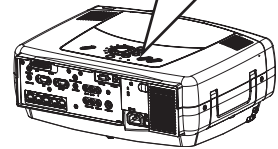
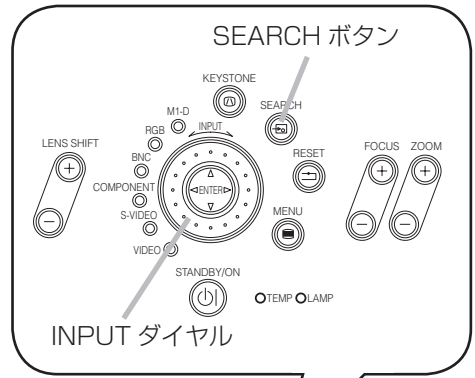


2 画面サイズ (ズーム) を調節する

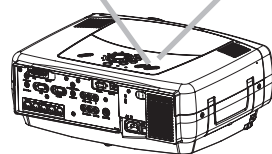
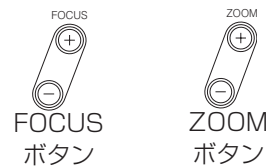
本体の ZOOM ボタンを使って画面サイズを調節してください。

3 焦点 (フォーカス) を合わせる

本体の FOCUS ボタンを使って焦点を合わせてください。



基本操作



画面の縦横比を選ぶ

1 ASPECT ボタンを押す

ASPECT ボタンを押すごとに、下記の順で画面の縦横比（アスペクト）が切り替わります。

■ M1-D 信号で

ノーマル ↔ 4:3 ↔ 16:9

ノーマルは入力信号そのままの縦横比です。

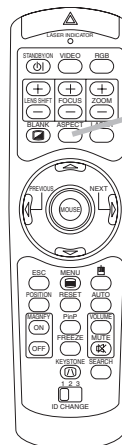
■ RGB 信号（M1-D を除く）で

4:3 ↔ 16:9

■ ビデオ信号（または無信号）で

4:3 ↔ 16:9 ↔ スモール

1125iおよび750pのHDTV（ハイビジョンコンポーネント）信号では16:9以外は選べません。



ASPECT ボタン

画面を自動調整する

お知らせ

- 自動調整には 10 秒程度の時間がかかることがあります。また、入力信号によっては正しく調整できないことがあります。

1 AUTO ボタンを押す

■ RGB 信号で

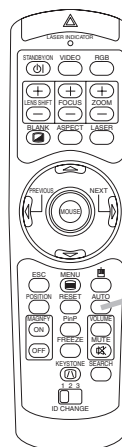
画面の垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズが自動的に調整されます。

アプリケーション表示はウィンドウを最大表示して実行してください。また暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。

■ ビデオ信号で

入カメニューの「VIDEO」**33**で「オート」が設定されているとき、入力信号に合わせた信号方式が自動的に選択されます。

コンポーネントビデオ信号では、この機能に関係なく信号方式が自動設定されます。



AUTO ボタン

画面の位置を調節する

お知らせ

- 画面の位置は RGB 信号を投射しているときだけ調節できます。

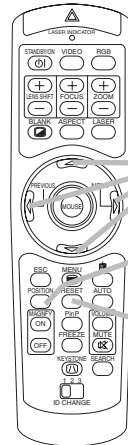
1 POSITION ボタンを押す

右のように「位置」と表示され、画面の位置を調節できるようになります。

2 画面の位置を調節する

カーソルボタン▲/▼/◀/▶を使って調節してください。

「位置」が表示されている間に RESET ボタンを押すと、画面の位置をもと（信号を受信した時点の状態）に戻すことができます。



カーソル
ボタン
POSITION
ボタン
RESET
ボタン

終了するには

もう一度 POSITION ボタンを押すか、数秒間なにも操作しないと、「位置」の表示が消え、画面位置の調節が終了します。

台形歪みを補正する

お知らせ

- 台形歪みの調節の範囲は入力信号によって異なります。また、入力信号によっては、台形歪みの調節によって映像が正常に投射されなくなることがあります。

1 KEYSTONE ボタンを押す

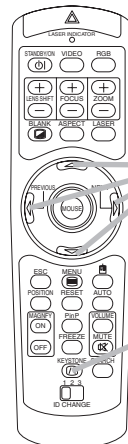
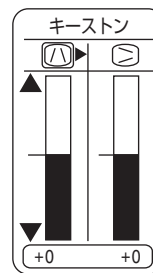
右のようなガイド表示が現れ、台形歪みを調節できるようになります。

2 調節方向 (△/◁) を選ぶ

ガイド表示を見ながら、カーソルボタン◀/▶を使って選んでください。

3 台形歪みを調節する

画面を見ながら、カーソルボタン▲/▼を使って調節してください。



カーソル
ボタン
KEYSTONE
ボタン

終了するには

もう一度 KEYSTONE ボタンを押すか、数秒間なにも操作しないと、ガイド表示が消え、台形歪みの調節が終了します。

音量を調節する

1 VOLUME ボタンを押す

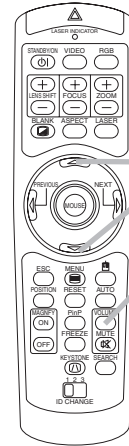
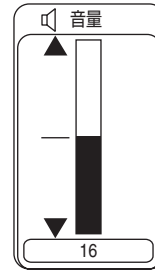
右のようなガイド表示が現れ、音量を調節できるようになります。

2 音量を調節する

カーソルボタン▲ / ▼を使って調節してください。

終了するには

もう一度 VOLUME ボタンを押すか、数秒間なにも操作しないと、ガイド表示が消え、音量の調節が終了します。



カーソル
ボタン

VOLUME
ボタン

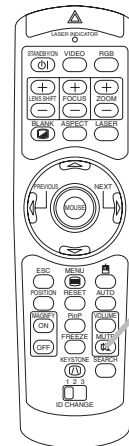
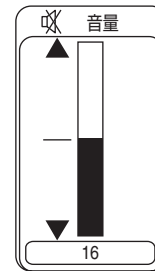
音量を一時的に消す

1 MUTE ボタンを押す

右のようなガイド表示が現れ、音声が消えます。約 5 秒間なにもしないとガイド表示は消えますが、音声は消えたままです。

終了するには


MUTE ボタンまたは VOLUME ボタンを押すと、音声に戻ります。



MUTE
ボタン

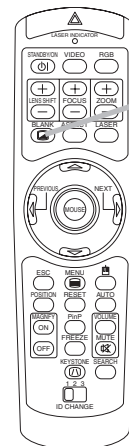
画面を一時的に消す

1 BLANK ボタンを押す

受信信号の映像が消えて、ブランク画面が表示されます。ブランク画面は、スクリーンメニューの「ブランク」で設定できます。

終了するには

もう一度 BLANK ボタンを押すと、ブランク画面が消えて受信信号の映像に戻ります。



BLANK
ボタン

映像を静止させる

お知らせ

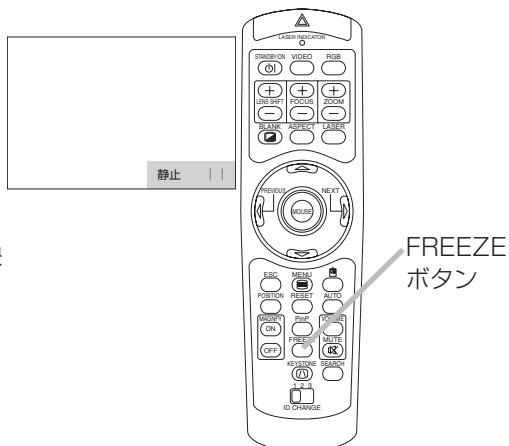
- 信号の入力状態が変わったり、本体の操作ボタンが押されたり、表示状態が変わるリモコンのボタン（RGB ボタン、VIDEO ボタン、MENU ボタン、BLANK ボタンなど）が押されたりすると、静止は自動的に解除されます。

1 FREEZE ボタンを押す

右のように「静止」および「II」と表示され、映像が静止します。

終了するには

もう一度 FREEZE ボタンを押すと、「II」の代わりに「▶」が数秒間表示された後、静止が解除されて通常の映像表示に戻ります。



画面を拡大する

お知らせ

- 信号の入力状態が変わったり、自動調節を実行したり、画面の縦横比やビデオ信号の信号方式が変わったりすると、拡大は自動的に解除されます。

1 MAGNIFY ON ボタンを押す

右のように「拡大」と表示されます。

2 拡大領域を選ぶ

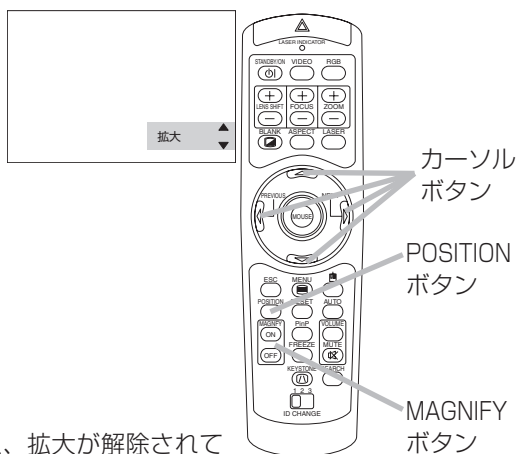
POSITION ボタンを押し、カーソルボタン▲/▼/◀/▶を操作すると、拡大する場所を選ぶことができます。もう一度 POSITION ボタンを押すと、拡大領域が確定します。

3 拡大領域を選ぶ

カーソルボタン▲/▼を使って調節してください。

終了するには

MAGNIFY OFF ボタンを押すと、「拡大」の表示が消え、拡大が解除されて通常の映像表示に戻ります。



子画面を表示する (PinP 機能を使う)

お知らせ

- PinP 機能 (子画面表示機能) は、RGB 信号を投射しているとき、ビデオ信号用の子画面を表示する機能です。

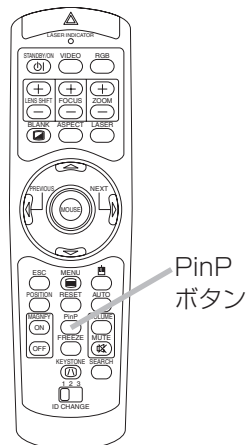
1 PinP ボタンを押す

子画面が現れて、ビデオ信号の映像が表示されます。PinP ボタンを押すごとに、下記の順で子画面の状態が切り替わります。

子画面 (小) → 子画面 (大) → 子画面表示無し



子画面に表示するビデオ信号と子画面の表示位置は、メニュー操作で選択することができます。「メニュー操作」-「入力メニュー」の「P.IN P. 入力」および「P.IN P. 位置」の項 [39](#) をご参照ください。



音声信号を選ぶ

お知らせ

- PinP 機能 (子画面表示機能) の子画面が表示されているとき、親画面 (RGB 信号) 用の音声と子画面 (ビデオ信号) 用の音声を選んで出力することができます。

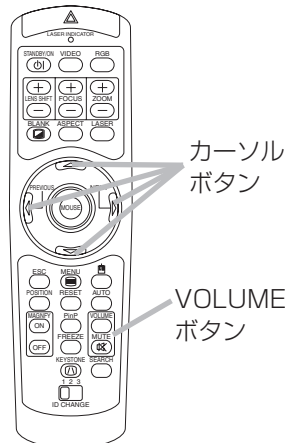
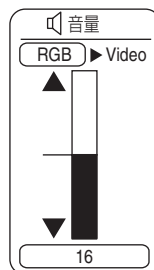
1 (子画面が表示されているとき) VOLUME ボタンを押す

右のようなガイド表示が現れます。

2 音声を選ぶ

カーソルボタン ◀ / ▶ を使って選んでください。

音声選択のガイド表示が出ているとき、カーソルボタン ▲ / ▼ を操作すると、音量を調節できます。



終了するには

もう一度 VOLUME ボタンを押すか、数秒間なにもしないと、ガイド表示が消え、音声の選択を終了します。

メニュー操作

メニュー機能の使いかた

本機には「メイン」、「映像 1」、「映像 2」、「入力」、「オート」、「スクリーン」、「その他」および「ネットワーク」のメニューがあり、どれも同様の方法で操作できます。メニューの基本操作は以下の通りです。

1 MENU ボタンを押す

画面上にメニューが表示されます。

2 メニューを選ぶ

カーソルボタン▲/▼を使ってメニュー名を選び、右側にそのメニューで操作できる項目が表示されます。

操作したい項目のあるメニューを選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。

3 項目を選ぶ

カーソルボタン▲/▼を使って操作したい項目を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押してください。操作用のガイド表示が現れます。

4 操作（選択や調節）する

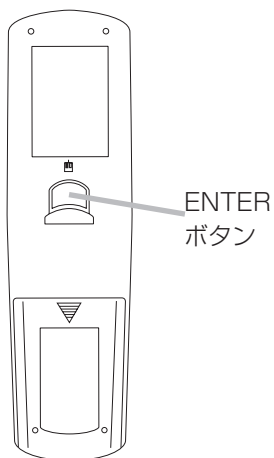
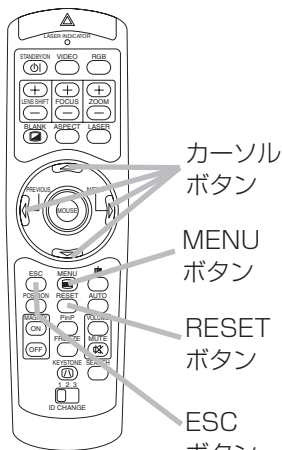
ガイド表示を見ながら、カーソルボタン▲/▼/▶を使って操作してください。

ガイド表示が表示されている間に RESET ボタンを押すと、操作をもと（信号を受信した時点の状態）に戻すことができます。ただし、操作と同時に実行される項目（例：「表示言語」、「静音」、「クロック位相」など）はもとに戻りません。

◀ ボタン（または ESC ボタン）を押すと操作が終了し、ガイド表示が消えて一つ前のメニュー表示に戻ります。

終了するには

もう一度 MENU ボタンを押すか、数秒間なにも操作しないと、メニュー表示が消えて操作が終了します。



例) 内蔵スピーカーを無効にする

1) MENU ボタンを押す。

メニュー		
メイン	明るさ	+0
映像1	コントラスト	+0
映像2	アスペクト	4:3
入力	静音	標準モード
オート	反転表示	標準モード
スクリーン	表示言語	
その他	[Language]	日本語
ネットワーク	初期化	
[C]: 選択		

2) カーソルボタン▼を使って、「その他」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー		
メイン	音量	16
映像1	スピーカー	有効
映像2	リモコン	1:ID2 2:ID3
入力	リモコン ID	ID使用しない
オート	ランプタイマー	1234h
スクリーン	フィルタタイマー	4321h
その他	特別な設定	
ネットワーク	初期化	
[C]: 選択		

メニュー		
メイン	音量	16
映像1	スピーカー	有効
映像2	リモコン	1:ID2 2:ID3
入力	リモコン ID	ID使用しない
オート	ランプタイマー	1234h
スクリーン	フィルタタイマー	4321h
その他	特別な設定	
ネットワーク	初期化	
[C]: 選択		

3) カーソルボタン▼を使って、「スピーカー」を選び、▶ ボタンを押す。

メニュー		
メイン	音量	16
映像1	スピーカー	有効
映像2	リモコン	1:ID2 2:ID3
入力	リモコン ID	ID使用しない
オート	ランプタイマー	1234h
スクリーン	フィルタタイマー	4321h
その他	特別な設定	
ネットワーク	初期化	
[C]: 選択		

その他	
スピーカー	有効
スピーカー	無効

4) カーソルボタン▼を使って、「無効」を選ぶ。

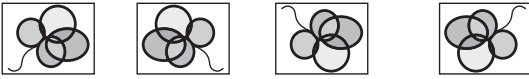
その他	
スピーカー	有効
スピーカー	無効

5) もう一度 MENU ボタンを押す。

メインメニュー

「メニュー機能の使いかた」に従って「メイン」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。

メニュー ▲	
メイン	明るさ +0
映像1	コントラスト +0
映像2	アスペクト 4:3
入力	静音 標準モード
オート	反転表示 標準モード
スクリーン	表示言語 日本語
その他	[Language]
ネットワーク	初期化
◀: 選択 ▼	

項目	操作
明るさ	カーソルボタン▲ / ▼で映像の明るさを調節できます。 明るく ⇄ 暗く
コントラスト	カーソルボタン▲ / ▼でコントラストを調節できます。 強く ⇄ 弱く
アスペクト	カーソルボタン▲ / ▼で映像の縦横比（アスペクト）を選べます。 ■ M1-D 信号で ノーマル ⇄ 4:3 ⇄ 16:9 「ノーマル」は入力信号そのままの縦横比です。 ■ RGB 信号（M1-D を除く）で 4:3 ⇄ 16:9 ■ ビデオ信号で 4:3 ⇄ 16:9 ⇄ スモール 1125i および 750p の HDTV 信号では 16:9 以外は選べません。
静音	カーソルボタン▲ / ▼でモードを切り替えられます。「静音モード」を選ぶと、本機の動作中の騒音を軽減することができます。 標準モード ⇄ 静音モード 「静音モード」では映像の明るさもやや抑えられます。
反転表示	カーソルボタン▲ / ▼でモードを切り替えると、映像を左右や上下に反転させて投映することができます。 通常表示 ⇄ 左右反転 ⇄ 上下反転 ⇄ 上下左右反転 例) 
表示言語	カーソルボタン▲ / ▼で、メニューやメッセージの表示言語を選ぶことができます。 ENGLISH ⇄ FRANÇAIS ⇄ DEUTSCH ⇄ ESPAÑOL ⇄ ITALIANO ↓ NORSK ⇄ NEDERLANDS ⇄ 日本語 ⇄ PORTUGUÉS ⇄ 中文 ↑ 한글 ⇄ SVENSKA ⇄ РУССКИЙ ⇄ SUOMI ⇄ POLSKI
初期化	カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、メインメニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。ただし「静音」と「表示言語」の設定は初期化されません。 実行する ⇄ 初期化しない

映像 1 メニュー

「メニュー機能の使いかた」に従って「映像 1」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。


メニュー ▲		
メイン	ガンマ	ノーマル
映像1	赤色の濃さ	+0
映像2	緑色の濃さ	+0
入力	青色の濃さ	+0
オート	画質	+0
スクリーン	色の濃さ	+0
その他	色あい	+0
ネットワーク	マイメモリー	セーブ1
◁: 選択 ▼		

項目	操作																		
ガンマ	<p>カーソルボタン▲/▼でモードを切り替えると、映像の明るさや色あいが微妙に変化します。ご使用環境や映像に合わせてお好みのモードを選んでください。 ノーマル ⇄ シネマ ⇄ ダイナミック ⇄ カスタム 「カスタム」はカスタムメニューで設定内容を変更することができます。</p> <table border="1" data-bbox="916 511 1255 699"> <thead> <tr> <th colspan="3">ガンマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノーマル</td> <td>ガンマ</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>シネマ</td> <td>色温度</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>ダイナミック</td> <td>赤</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>カスタム ▶</td> <td>緑</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>カスタムメニュー 「カスタム」を選んでカーソルボタン（または ENTER ボタン）を押すと、カスタムメニューが表示されます。</p> <p>カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すとその項目が操作できます。ただし「赤」、「緑」、「青」は、「色温度」に「ユーザー設定」が設定されているときだけ選ぶことができます。 ガンマ ⇄ 色温度 ⇄ 赤 ⇄ 緑 ⇄ 青</p>	ガンマ			ノーマル	ガンマ	2.2	シネマ	色温度	高	ダイナミック	赤	100	カスタム ▶	緑	100		青	100
ガンマ																			
ノーマル	ガンマ	2.2																	
シネマ	色温度	高																	
ダイナミック	赤	100																	
カスタム ▶	緑	100																	
	青	100																	
ガンマ	カーソルボタン▲/▼でガンマデータを調節できます。 大 ⇄ 小																		
色温度	カーソルボタン▲/▼で色温度を選択できます。「ユーザー設定」を選ぶと、下記の「赤」「緑」「青」で色温度を調節できます。 高 ⇄ 中 ⇄ 低 ⇄ ユーザー設定																		
赤	「色温度」が「ユーザー設定」のとき、カーソルボタン▲/▼で赤色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
緑	「色温度」が「ユーザー設定」のとき、カーソルボタン▲/▼で緑色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
青	「色温度」が「ユーザー設定」のとき、カーソルボタン▲/▼で青色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
赤色の濃さ	カーソルボタン▲/▼で赤色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
緑色の濃さ	カーソルボタン▲/▼で緑色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
青色の濃さ	カーソルボタン▲/▼で青色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		
画質	カーソルボタン▲/▼で画質を調節できます。 くっきり ⇄ やわらかく お知らせ この項目はビデオ信号以外では選択できません。																		
色の濃さ	カーソルボタン▲/▼で青色の濃さを調節できます。 濃く ⇄ 淡く																		


メニュー操作

(次頁につづく)

映像 1 メニュー (つづき)

項 目	操 作
色あい	カーソルボタン▲/▼で色あいを調節できます。 緑っぽく ⇄ 赤っぽく お知らせ この項目はビデオ信号以外では選択できません。
マイメモリー	本機には 1 ~ 4 の番号を持つ 4 つのメモリーがあり、明るさや色あいなどの設定を 4 組まで保存することができます。 セーブ 1、セーブ 2、セーブ 3、セーブ 4 は、その時点の設定を同じ番号のメモリーへ保存する機能です。ロード 1、ロード 2、ロード 3、ロード 4 は、同じ番号のメモリーから設定を呼び出し、投映中の映像を自動調整する機能です。 カーソルボタン▲/▼で実行したい機能を選び、カーソルボタン◀(または ENTER ボタン)を押すと、その機能を実行できます。 ロード 1 ↔ ロード 2 ↔ ロード 3 ↔ ロード 4  お知らせ セーブを実行していない番号のロードは選択できません。また、セーブを実行したときと異なる信号を投映して同じ番号のロードを実行すると、映像が正しく表示されないことがあります。
初期化	カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、映像 1 メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。ただし「ガンマ」の項の「カスタムメニュー」の「ガンマ」と、「マイメモリー」の設定は初期化されません。 実行する ⇄ 初期化しない

映像 2 メニュー

「メニュー機能の使いかた」に従って「映像 2」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。ただし、このメニューは M1-D 信号では選ぶことができません。

メニュー		
メイン	垂直位置	20
映像 1	水平位置	142
映像 2	クロック位相	31
入力	水平サイズ	1344
オート	オーバースキャン	95
スクリーン	初期化	
その他		
ネットワーク		
☺: 選択		

項目	操作
垂直位置	カーソルボタン▲/▼で映像の垂直位置を調節できます。 上へ ⇄ 下へ お知らせ この項目は RGB 信号以外では選択できません。
水平位置	カーソルボタン▲/▼で映像の水平位置を調節できます。 左へ ⇄ 右へ お知らせ この項目は RGB 信号以外では選択できません。
クロック位相	カーソルボタン▲/▼で、クロック位相を調節できます。ちらつきが無くなるように調節してください。 右へ ⇄ 左へ お知らせ この項目は、RGB 信号またはコンポーネント信号（COMPONENT 端子からの 525i、625i、SCART RGB 信号を除く）以外では選択できません。
水平サイズ	カーソルボタン▲/▼で映像の水平サイズを調節できます。 大きく ⇄ 小さく お知らせ ●この項目は、RGB 信号以外では選択できません。 ●調節しすぎると映像が正しく表示されないことがあります。この場合は、「水平サイズ」を選択した状態で RESET ボタンを押して調節を初期化してください。
オーバースキャン	カーソルボタン▲/▼で表示率（オーバースキャン）を調節できます。 表示率を大きく ⇄ 表示率を小さく (映像を小さく) ⇄ (映像を大きく) お知らせ ●この項目は、ビデオ信号以外では選択できません。 ●表示率を大きくしすぎると、画面のふちにノイズが現れることがあります。この場合は表示率を小さくしてください。
初期化	カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、映像 2 メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。ただし「クロック位相」の設定は初期化されません。 実行する ⇄ 初期化しない

入力メニュー

「メニュー機能の使いかた」**33**に従って「入力」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。

メニュー ▲		
メイン	色空間	オート
映像1	COMPONENT	COMPONENT
映像2	VIDEO	オート
入力	三次元YC分離	オン
オート	VIDEO NR	弱
スクリーン	P.IN P.入力	VIDEO
その他	P.IN P.位置	□
ネットワーク	起動時の入力	RGB
▼ 選択		

項目	操作
色空間	<p>「オート」を設定すると、入力信号に合わせた色の信号方式（色空間）を自動設定することができます。ただし、信号によっては正しく設定できないことがありますので、この場合は、画面を見ながらモードを切り替え、適切なものを選択してください。カーソルボタン▲/▼で色空間のモードを選べます。</p> <p>オート ⇄ RGB ⇄ SMPTE240 ⇄ REC709 ⇄ REC601</p> <p>お知らせ ●この項目は、RGB 信号またはコンポーネント信号（COMPONENT 端子からの 525i、625i、SCART RGB 信号を除く）以外では選択できません。</p> <p>●「SMPTE240」「REC709」は HDTV 信号用です。</p>
COMPONENT	<p>カーソルボタン▲/▼で、COMPONENT 端子の機能を切り替えることができます。「SCART RGB」を選ぶと COMPONENT 端子が SCART RGB 信号の入力端子 [& 18] として働きます。</p> <p>COMPONENT ⇄ SCART RGB</p>
VIDEO	<p>「オート」モードを設定すると、入力信号に合わせた映像信号方式を自動設定することができます。ただし、信号によっては正しく設定できない（映像が乱れる、色がかからない、など）ことがありますので、この場合は入力信号に合わせたモードを選択してください。カーソルボタン▲/▼で映像信号方式のモードを選べます。</p> <p>AUTO ⇄ NTSC ⇄ PAL ⇄ SECAM ⇄ NTSC4.43 ⇄ M-PAL ⇄ N-PAL</p> <p>お知らせ ●この機能は VIDEO 端子または S-VIDEO 端子からの入力信号のときだけ有効です。コンポーネントビデオ信号では、この機能に関係なく信号方式が自動設定されます。</p> <p>●自動設定の動作には 10 秒程度の時間がかかることがあります。</p>
三次元 YC 分離	<p>本機の三次元 YC 分離モードは、一般に、NTSC3.58 ビデオ信号で、静止画や動きの少ない映像を表示するのに適した表示モードです。カーソルボタン▲/▼で「オン」/「オフ」を切り替えられます。</p> <p>オン ⇄ オフ</p> <p>お知らせ ●この機能は NTSC3.58 ビデオ信号のときだけ有効です。</p> <p>●この機能が「オン」のとき、「VIDEO NR」[& 39] は無効です。</p> <p>●信号によっては、画質悪い影響がでることがあります。この場合は「オフ」にしてご使用ください。</p>
VIDEO NR	<p>カーソルボタン▲/▼で映像ノイズの低減レベルを選べます。</p> <p>強 ⇄ 中 ⇄ 弱</p> <p>お知らせ ●この機能は VIDEO 端子または S-VIDEO 端子からの入力信号で、「三次元 YC 分離」38 が「オフ」のときだけ有効です。</p> <p>●この機能によって画質悪い影響がでることがあります。</p>
P.IN P. 入力	<p>カーソルボタン▲/▼で子画面 32 の入力信号を切り替えられます。</p> <p>VIDEO ⇄ S-VIDEO</p>
P.IN P. 位置	<p>カーソルボタン▲/▼で子画面 [& 32] の表示位置を切り替えられます。</p> <p>□ ⇄ □ ⇄ □ ⇄ □</p>
起動時の入力	<p>カーソルボタン▲/▼で、本機の電源を入れたときに投射する信号の入力端子を選択できます。「終了時の入力」を選ぶと、最後に電源を切ったときに投射されていた信号の入力端子が選択されます。</p> <p>終了時の入力 ⇄ M1-D ⇄ RGB ⇄ BNC ⇄ COMPONENT ⇄ S-VIDEO ⇄ VIDEO</p>


(次頁につづく)

項目	操作
インフォメーション	<p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、下図のような表示が現れて、投映中の信号について表示します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>◀入力インフォメーション</small> RGB 1024x768 @60.0 フレームロック </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>◀入力インフォメーション</small> S-VIDEO SECAM オート </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>◀入力インフォメーション</small> COMPONENT 575i @50 SCART RGB </div> </div> <p>お知らせ ●「フレームロック」はフレームロック機能が働いているときに表示されます。フレームロック機能は垂直周波数 50～60Hz の RGB 信号のとき自動的に動作し、動画をよりスムーズに表示する働きをします。</p> <p>●「SACRT RGB」は COMPONENT 端子が SCART RGB 端子として設定されている [838] ときに表示されます。</p>
S2-アスペクト	<p>カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。「有効」にすると、S2-VIDEO 信号を自動的に識別し、適切なアスペクト（映像の縦横比）を自動設定することができます。</p> <p>有効 ⇄ 無効</p> <p>お知らせ ●この機能は S-VIDEO 信号のときだけ有効です。</p> <p>● ASPECT ボタンを押すか、メインメニューの「アスペクト」を操作すると、自動的に「オフ」になります。</p> <p>●信号によっては画質に悪い影響がでることがあります。この場合は「オフ」にしてご使用ください。</p>
初期化	<p>カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、入力メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。（「インフォメーション」は初期化されません。）</p> <p>実行する ⇄ 初期化しない</p>

オートメニュー

「メニュー機能の使いかた」33に従って「オート」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。

メニュー		
メイン	アジャスト	
映像1	パワーオフ	0 min
映像2	パワーオン	無効
入力	サーチ	有効
オート	初期化	
スクリーン		
その他		
ネットワーク		
☺: 選択		

項目	操作
アジャスト	<p>カーソルボタン▶(または ENTER ボタン) を押すと、以下の自動調整機能を実行できます。</p> <p>■ RGB 信号で 画面の垂直位置、水平位置、クロック位相、水平サイズが自動的に調整されます。</p> <p>お知らせ ●アプリケーション表示はウィンドウを最大表示して実行してください。 ●暗い映像では正しく調整されない場合がありますので、明るい映像を表示して実行してください。 ●自動設定の動作には 10 秒程度の時間がかかることがあります。</p> <p>■ ビデオ信号で 入力メニューの「VIDEO」33 で「オート」が設定されているとき、入力信号に合わせた信号方式が自動的に選択されます。</p> <p>お知らせ ●信号によっては正しく設定できない(映像が乱れる、色がつかない、など)ことがあります。この場合は入力メニューの「VIDEO」33 で、入力信号に合った信号方式を設定してください。 ●この機能は VIDEO 端子または S-VIDEO 端子からの入力信号のときだけ有効です。コンポーネントビデオ信号では、この機能に関係なく信号方式自動設定されます。 ●自動設定の動作には 10 秒程度の時間がかかることがあります。</p>
パワーオフ	<p>パワーオフの時間を設定すると、正常に信号が入力されない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)状態が設定した時間継続したとき、自動的に投射ランプを消して電源を切るための準備を開始させることができます。[&26] 時間を 0 にすると、この機能は無効になります。</p> <p>カーソルボタン▲/▼で投射ランプ消灯までの時間を設定できます。</p> <p>長く(最長 99 分) ⇔ 短く(最短 0 分 = 無効)</p> <p>ex. </p>
パワーオン	<p>カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。「有効」にすると、本機の電源を入れる 25 とき、STANDBY/ON ボタンを押さずに投射ランプを点灯させることができます。</p> <p>有効 ⇔ 無効</p> <p>お知らせ ●この機能が「有効」のとき、停電などで本機の電源スイッチの[](入れる)側が押されている状態で投射ランプが消灯し、電源の復帰によって本機が再起動すると、投射ランプも自動的に点灯しますのでご注意ください。</p>
サーチ	<p>「有効」にすると、選択されていた端子に正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)とき、下記の順で各端子の入力を順次検索し、正常な信号が見つかったらその映像を投射します。正常な信号が見つからないと検索する前の状態に戻ります。</p> <p>M1-D → RGB → BNC → COMPONENT → S-VIDEO → VIDEO</p> <p>カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。</p> <p>有効 ⇔ 無効</p> <p>お知らせ ●このを「有効」にして RGB ボタンを押すと M1-D 端子から、VIDEO ボタンを押すと COMPONENT 端子から、検索を始めることができます。</p>
初期化	<p>カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、オートメニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。「アジャスト」の設定は初期化されません。</p> <p>実行する ⇐ 初期化しない</p>

スクリーンメニュー

「メニュー機能の使いかた」[E3](#) に従って「スクリーン」メニューを選び、項目を選ばると、下表の操作をすることができます。

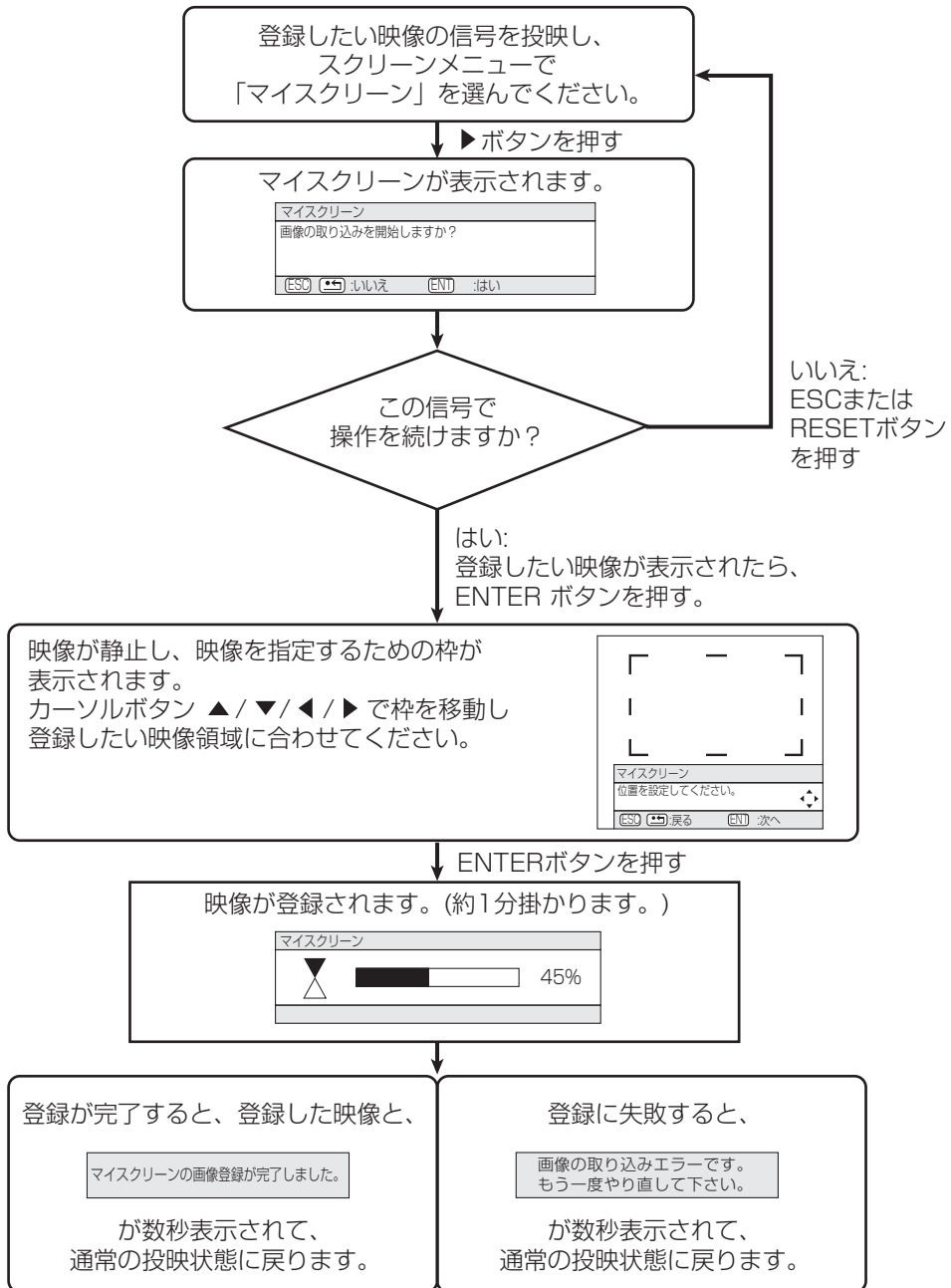
メニュー		
メイン	ブランク	黒
映像1	初期画面	オリジナル
映像2	マイスクリーン	
入力	マイスクリーンサイズ	×1
オート	マイスクリーンロック	無効
スクリーン	メニュー位置	
その他	メッセージ	表示する
ネットワーク	初期化	

☑: 選択

項目	操作
ブランク	<p>「ブランク画面」は BLANK ボタンを押したときに投映される映像です。「マイスクリーン」にはお好みの映像を登録できます。(下「マイスクリーン」をご参照ください。) オリジナルは標準映像です。(投映してご確認ください。) 「青」「白」「黒」は各色の無地の画面です。</p> <p>カーソルボタン▲/▼でブランク画面を選べます。 マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 青 ⇄ 白 ⇄ 黒</p> <p>お知らせ ●プロジェクターは、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で黒い無地の画面に変わります。</p>
初期画面	<p>「初期画面」は起動時の信号が安定するまでの間や、正常な信号が見つからない(入力信号が無い、入力信号が本機の仕様に合わない、など)ときに投映される映像です。「マイスクリーン」にはお好みの映像を登録できます。(下「マイスクリーン」をご参照ください。) オリジナルは標準映像です。(投映してご確認ください。) 「表示しない」を選ぶと「青」の無地画面が使用されます。</p> <p>カーソルボタン▲/▼で初期画面を選べます。 マイスクリーン ⇄ オリジナル ⇄ 表示しない</p> <p>お知らせ ●プロジェクターは、同じ映像を長時間投映し続けると残像が残ることがあります。これを防ぐため、「マイスクリーン」または「オリジナル」は数分で無地の画面に変わります。「ブランク画面」に「青」「白」「黒」が選ばれている場合はその画面に、「マイスクリーン」「オリジナル」が選ばれていると黒い無地の画面になります。(上「ブランク」をご参照ください。)</p>
マイスクリーン	<p>「ブランク」や「初期画面」の「マイスクリーン」にはお好みの映像(マイスクリーン)を登録することができます。カーソルボタン ◀(または ENTER ボタン)を押すと登録操作を開始できます。「マイスクリーンを登録する」42 に従って操作してください。</p>
マイスクリーンサイズ	<p>カーソルボタン▲/▼で「マイスクリーン」映像の表示倍率を選択できます。 ×1 ⇄ フル</p>
マイスクリーンロック	<p>「有効」にすると、「マイスクリーン」の登録操作を禁止し、登録済みの映像を保護することができます。カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を選べます。 有効 ⇄ 無効</p>
メニュー位置	<p>カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、カーソルボタン▲/▼/◀/▶でメニューの表示位置を調節できるようになります。</p> <p>お知らせ この操作の終了には ESC ボタンを押してください。カーソルボタン◀では終了できません。</p> <div style="text-align: center;"> <p>上へ 左へ ← → 右へ 下へ</p> </div>
メッセージ	<p>「表示しない」を選ぶと、下記のメッセージが表示されなくなります。</p> <p>自動調整実行中のメッセージ「AUTO 実行中」 信号入力がないときのメッセージ「*** に信号が入力されていません。」 仕様外信号入力検出時のメッセージ「*** の信号は同期範囲外です。」 信号検索中のメッセージ「検索中 ...」 信号検出中のメッセージ「信号検出中 ...」 入力信号が変わったときの信号表示 映像の縦横比(アスペクト)が変わったときのアスペクト表示 焦点(フォーカス)調節中のメッセージ「FOCUS」 カーソルボタン▲/▼で切り替えられます。 表示する ⇄ 表示しない</p>
初期化	<p>カーソルボタン▲で「実行する」を選ばると、スクリーンメニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 実行する ⇄ 初期化しない</p>

メニュー操作


マイスクリーンを登録する



その他メニュー

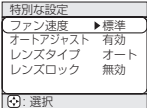
「メニュー機能の使いかた」**23** に従って「オプション」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。

メニュー		
メイン	音量	16
映像1	スピーカー	有効
映像2	リモコン	1: <input checked="" type="checkbox"/> 2: <input type="checkbox"/> 3: <input checked="" type="checkbox"/>
入力	リモコン ID	ID 使用しない
オート	ランプタイマー	1234h
スクリーン	フィルタータイマー	4321h
その他	特別な設定	
ネットワーク	初期化	
☺: 選択		

項目	操作
音量	カーソルボタン▲/▼で音量を調節できます。 大きく ⇄ 小さく
スピーカー	「無効」にすると本機の内臓スピーカーが動かなくなります。(音が出なくなります。) カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。 有効 ⇄ 無効
リモコン	<p>リモコン受光部は個別に有効/無効を設定できます。照明に近い側のリモコン受光部だけを無効にしたい場合などにこの機能をご使用ください。</p>  <p>(1) カーソルボタン▲/▼で受光部を指定し、(2)ENTER ボタンで「有効」/「無効」を切り替えられます。 (1) 1: 前面 ⇄ 2: 上面 ⇄ 3: 背面 (2) <input type="checkbox"/> (無効) ⇄ <input checked="" type="checkbox"/> (有効)</p> <p>お知らせ 全てのリモコン受光部を同時に無効にすることはできません。</p>
リモコン ID	<p>リモート ID 機能 23 をご使用になるにはリモコン ID (本機の識別番号) の設定が必要です。カーソルボタン▲/▼で、同時に操作する他のプロジェクターと異なる番号を選んでください。 ID 使用しない ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3</p> <p>お知らせ リモコンの ID CHANGE スイッチが本機のリモコン ID と同じ番号にあるときだけ本機を操作することができます。「ID 使用しない」を設定すると、リモコンの ID CHANGE スイッチの位置に関係なく、本機を操作できます。</p>
ランプタイマー	<p>この機能は投射ランプを交換したときにご使用ください。RESET ボタンを約 3 秒間押し続けると、ランプタイマーメニューが表示されます。カーソルボタン▲で「初期化する」を選ぶと、投射ランプ使用時間を管理するタイマーが初期化されます。 初期化する ⇄ 初期化しない</p> <p>お知らせ ●投射ランプを交換しないでランプタイマーを初期化したり、交換して初期化しなかったりすると、ランプ交換についてのメッセージが正しく表示されなくなりますのでご注意ください。 ●投射ランプの交換については「ランプ」47 をご参照ください。</p>
フィルタータイマー	<p>この機能はエアフィルターをお手入れ (掃除または交換) したときにご使用ください。RESET ボタンを約 3 秒間押し続けると、フィルタータイマーメニューが表示されます。カーソルボタン▲で「初期化する」を選ぶと、エアフィルターを前回掃除または交換してからの使用時間を管理するタイマーが初期化されます。 初期化する ⇄ 初期化しない</p> <p>お知らせ ●エアフィルターを掃除または交換しないでフィルタータイマーを初期化したり、掃除または交換して初期化しなかったりすると、エアフィルターのお手入れについてのメッセージが正しく表示されなくなりますのでご注意ください。 ●エアフィルターのお手入れについては「エアフィルター」49 をご参照ください。</p>

(次頁につづく)

その他メニュー（つづき）


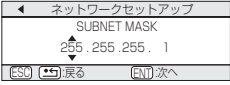



項目	操作
特別な設定	<p>カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すと、特別な設定メニューが表示されます。</p> <p>特別な設定 メニュー</p> <p>カーソルボタン▲/▼で操作したい項目を選び、カーソルボタン▶（または ENTER ボタン）を押すとその項目が操作できます。</p> <p>ファン速度 ⇄ オートアジャスト ⇄ レンズタイプ ⇄ レンズロック</p> 
ファン速度	<p>高地でご使用の場合など、「高速」に設定すると本機のファンの回転速度を上げることができます。カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。</p> <p>高速 ⇄ 標準</p> <p>お知らせ「高速」ではファンによる騒音が大きくなります。</p>
オートアジャスト	<p>RGB 信号で、現状の映像の位置やサイズを維持したい場合など、「無効」に設定すると入力信号の変化などによる自動調整を禁止できます。カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。</p> <p>有効 ⇄ 無効</p>
レンズタイプ	<p>ご使用中のレンズに合わせてモードを指定すると台形歪みに効果があります。「オート」モードを設定すると適切なモードを自動設定できますが、正しく設定されない場合もありますので、必要に応じ、カーソルボタン▲/▼で指定してください。</p> <p>オート ⇄ 1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5</p> <p>各モードは以下の通りです。</p> <p>オート = 自動設定</p> <p>1 = 標準レンズ (NL-500 等) 用</p> <p>2 = 固定短焦点レンズ (FL-501 等) 用</p> <p>3 = 短焦点レンズ (SL-502 等) 用</p> <p>4 = 長焦点レンズ (LL-503 等) 用</p> <p>5 = 超長焦点レンズ (LL-504 等) 用</p> <p>お知らせ 別売のレンズについては販売店にお尋ねください。</p>
レンズロック	<p>現状のレンズの位置（レンズシフト）、画面サイズ（ズーム）、焦点（フォーカス）の調節状態を維持したい場合など、「有効」を選ぶとこれらの調節を禁止できます。カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。:</p> <p>有効 ⇄ 無効</p>
初期化	<p>カーソルボタン▲で「実行する」を選べると、その他メニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。ただし「音量」「ランブタイマー」「フィルタータイマー」および「特別な設定」は初期化されません。</p> <p>実行する ⇄ 初期化しない</p>

ネットワークメニュー

メニュー	セッアップ
メイン	DHCP 無効
映像1	インフォメーション
映像2	初期化
入力	
オート	
スクリーン	
その他	
ネットワーク	
[F4]: 選択	

「メニュー機能の使いかた」33 に従って「ネットワーク」メニューを選び、項目を選ぶと、下表の操作をすることができます。

お知らせ 本機は初期設定(出荷時点)で DHCP を「有効」に設定しています。DHCP 機能に対応しているネットワーク環境をご使用の場合、DHCP が「有効」なら、このメニューによる設定は必要ありません。「ネットワークについて」49 をご参照ください。

項目	操作
セッアップ	<p>1. DHCP が「無効」に設定されているとき、カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、右図のような IP ADDRESS メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で IP ADDRESS を入力してください。 お知らせ IP ADDRESS はネットワーク上での本機の識別番号です。他の機器と同じ番号は使用できません。</p>  <p>2. IP ADDRESS メニューでカーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、右図のような SUBNET MASK メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で、ご使用になるネットワークのアドレスを入力してください。</p>  <p>3. SUBNET MASK メニューでカーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、右図のような DEFAULT GATEWAY メニューが表示されます。カーソルボタン▲/▼で、ご使用になるゲートウェイ(所属するネットワークの外へアクセスするときの出入口となるコンピュータやルータなどの機器)のアドレスを入力してください。</p> 
DHCP	<p>DHCP 機能に対応していないネットワーク環境をご使用のとき「無効」を設定してください。カーソルボタン▲/▼で「有効」/「無効」を切り替えられます。 有効 ⇄ 無効</p> 
インフォメーション	<p>カーソルボタン▶(または ENTER ボタン)を押すと、右図のようなネットワーク・インフォメーションメニューが表示され、現状の設定内容を確認できます。</p> 
初期化	<p>カーソルボタン▲で「実行する」を選ぶと、ネットワークメニューの各項目を一括して初期設定に戻すことができます。 実行する ⇄ 初期化しない</p>

メニュー操作

ネットワークについて

本機はネットワーク機能を備えています。本機のネットワーク機能に関しては弊社のホームページをご参照ください。

日立液晶プロジェクターホームページ：<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

ネットワーク機能をご使用になるには、ご使用になるネットワーク環境に合った設定が必要です。ゲートウェイ（所属するネットワークの外へアクセスするときの出入口となるコンピュータやルータなどの機器）と、本機の NETWORK 端子を CAT-5 ケーブルで接続し、以下の設定を行ってください。

DHCP 機能に対応したネットワーク環境をご使用になる場合

ネットワークメニューの「DHCP」を「有効」にすると自動設定できます。ネットワークメニューの「DHCP」**45** をご参照ください。固定のアドレスをご使用になる場合は下記の設定を行ってください。

DHCP 機能に対応していないネットワーク環境をご使用になる場合 または DHCP 機能に対応したネットワーク環境で固定のアドレスを使用したい場合

ネットワークメニュー **45** を使って以下を設定してください。

1. DHCP：DHCP 機能の有効／無効（初めに、DHCP を「無効」に設定してください。）
2. SUBNET MASK：ご使用になるネットワークのアドレス
3. DEFAULT GATEWAY：ご使用になるゲートウェイ（所属するネットワークの外へアクセスするときの「出入口」となるコンピュータやルータなどの機器）のアドレス
4. DHCP：DHCP 機能の有効／無効（この場合は「無効」を設定してください。）

ネットワークに接続したコンピュータの Web ブラウザ（ただし Internet Explorer 4.0 以上）を使って設定することもできます。下記をご参照ください。

例）IP Address = 192.168.1.11 の場合

画面 1 で、

- 1) アドレスに「<http://192.168.1.11>」を入力する。
- 2) 「ENTER」をクリックする。

画面 2 で、

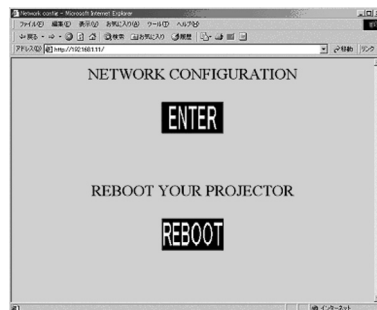
- 3) IP CONFIGURATION の各データを入力する。
(IP ADDRESS には「192.168.1.11」を入力する。)
- 4) データを確認し、「Write」をクリックする。
※入力データは DHCP が無効のときのための設定として登録され、リポート後に適用されます。
- 5) 「Return to top page」をクリックする。

画面 1 で、

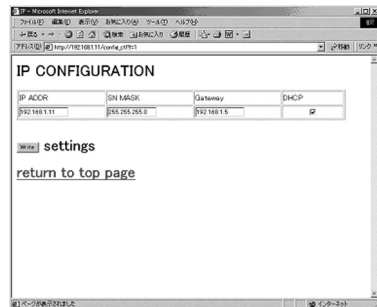
- 6) 「REBOOT」（リポート）をクリックする。

設定を終了します。

画面 1



画面 2



お手入れ

ランプ

ランプについてのご注意

警告



本機に使用のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです。このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命が尽きたりする特性があります。寿命にはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。また、ランプが破裂すると、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスがプロジェクターの通風口から出たりすることがあります。**ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。**

使用済みランプの廃棄について 本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。



- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、プロジェクターの電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店にランプ交換をご依頼ください。飛び散ったガラス片によって、けがやプロジェクターの内部を傷つける原因となることがありますので、お客様によるプロジェクター内部の清掃やランプ交換はおやめください。
- 万一、ランプが破裂した場合（破裂音がします）は、換気を十分にしておき、プロジェクターの通風口から排出されるガスを吸い込んだり、目や口に入ったりしないようご注意ください。
- ランプを交換するまえに、必ず電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待ってランプを十分冷ましてください。高温状態での取扱いは火傷や破裂の原因となります。



- 天吊りや高所への設置状態ではプロジェクターのランプカバーを開けないでください。万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業は危険ですので、ランプが破裂していない場合でも、ランプ交換は必ず販売店にご依頼ください。
- ランプカバーを外した状態ではプロジェクターをご使用にならないでください。ランプ交換の後は、ネジなどがしっかりと止められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。ネジがゆるんでいたりランプカバーが外れたりすると、けがや故障の原因となることがあります。



- ランプは指定のもの **71** をご使用ください。ランプを交換するときは、本書に指定の交換用ランプと型名が一致することを予めご確認ください。
- ランプは長時間ご使用になったり、交換時期を超えてご使用になると、破裂する可能性が高くなります。メッセージなど、ランプ交換時期のお知らせが表示された場合 **65** はお早めにランプ交換を行ってください。古いランプ（ご使用済み）の再利用はランプの破裂の原因となりますのでおやめください。
- ランプがご使用開始後短時間で破裂した場合は、ランプ以外の電氣的障害をともなっている場合があります。このような場合は販売店にご相談ください。
- ランプに衝撃を加えたり傷つけたりしますと、使用中に破裂する場合がありますので、ていねいに取り扱いってください。
- ランプを交換したときはランプタイマーのリセットを行ってください。ランプを交換しないときはランプタイマーをリセットしないでください。ランプタイマーのリセットを正しく行わないと、メッセージなどの機能が正しく働きません。
- ランプ交換の際は、エアーフィルターも交換してください。本機の交換用ランプに添付のエアーフィルターは本機にご使用になれます。

ランプを交換する

ランプには寿命があり、長時間使用すると映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりします。お早目の交換をお勧めします。プロジェクターの電源を入れたときに「ランプを交換して下さい」などのメッセージが表示された場合はランプの交換が必要です。また、LAMP インジケータが赤色に点灯した時にもランプ交換が必要な場合があります。詳細は本書の「故障かな?と思ったら」**65**をご参照ください。

1 プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、45分以上待つて十分冷ます

2 新しいランプを用意する

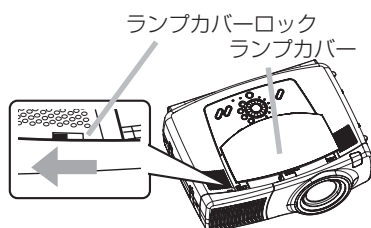
販売店に交換ランプの型名 **71** を指定して、ご購入ください。

ランプが破裂した場合や、プロジェクターが天井や高所へ設置されている場合は交換作業も販売店へご依頼ください。お客様による作業は危険です。ランプカバーを明けずに販売店へご依頼ください。

ご自分でランプ交換される場合は、

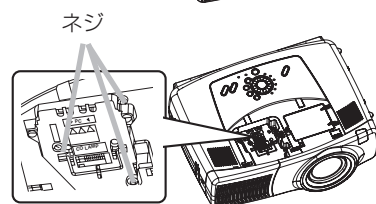
3 プロジェクターが十分冷めたのを確認し、ランプカバーを開ける

右図のようにランプカバーロックをスライドさせて外し、浮き上がった部分をつまんでカバーを外してください。



4 古いランプを取り出す

右図に従って3本のネジをゆるめ、ハンドルを持って静かにランプを取り出してください。プロジェクターの内部には手を触れないようご注意ください。

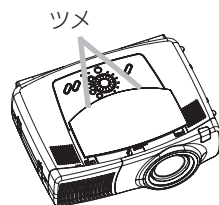


5 新しいランプを入れる

新しいランプのハンドルを持って静かに入れ、ゆるめた3本のネジをしっかりと締めて固定してください。

6 ランプカバーを閉める

ランプカバーの2つのツメをプロジェクター側に合わせながら、もとのように取り付けてください。図のように3箇所を押してきちんと閉めてください。



7 ランプタイマーを初期化する

プロジェクターを起動し、その他メニューの「ランプタイマー」**43**を使ってランプタイマーを初期化してください。

「0 時間後に電源をきります。」のメッセージが表示されてからランプ交換を行った場合は、電源を入れてから10分以内に初期化してください。

エアフィルター

⚠ 警告

● エアフィルターの掃除や交換のまえには必ず電源を切り、電源プラグを抜いて、本機を十分冷ましてください。

⚠ 注意

- エアフィルターやフィルターカバーを外した状態で本機をご使用にならないでください。
- エアフィルターは指定のものをご使用ください。エアフィルターを交換するときは、本書に指定の交換用エアフィルターと型名が一致することを予めご確認ください。
- エアフィルターがホコリなどでつまると、本機の内部温度が上昇して故障などの原因となることがあります。また内部温度の上昇を防ぐために自動的に電源が切れる場合もあります。メッセージなど、エアフィルターの掃除時期のお知らせが表示された場合 **66** はお早めにエアフィルターの掃除または交換を行ってください。
- エアフィルターを掃除または交換したときはフィルタータイマーのリセットを行ってください。エアフィルターを掃除または交換しないときはフィルタータイマーをリセットしないでください。ランプタイマーのリセットを正しく行わないと、メッセージなどの機能が正しく働きません。

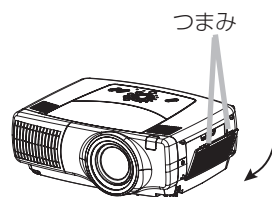
エアフィルターを掃除／交換する

エアフィルターが損傷したり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は交換が必要です。そのまま使い続けると故障の原因となることがありますのでお早めに交換してください。

1 プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って冷ます

2 プロジェクターが冷めたのを確認し、フィルターカバーとエアフィルターを外す

右図のように、つまみを持って、手前に引いて外してください。



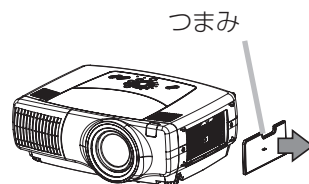
3 エアフィルターとフィルターカバーを掃除する

掃除機を使ってホコリや汚れを吸い取ってください。

エアフィルターの汚れがひどくて落ちなかったり、損傷した場合は交換が必要です。販売店に交換エアフィルターの型名 **71** を指定して、ご購入ください。

4 エアフィルターとフィルターカバーを取り付ける

エアフィルターとフィルターカバーをもとのように取り付けてください。



5 フィルタータイマーを初期化する

プロジェクターを起動し、その他メニューの「フィルタータイマー」**43** を使ってフィルタータイマーを初期化してください。

お
手
入
れ

その他お手入れ

⚠ 警告

- お手入れのまえには必ず電源を切り、電源プラグを抜いて、本機を十分冷ましてください。本書の「使用上のご注意」をよくお読みになり、正しい方法でお手入れしてください。

プロジェクター内部のお手入れ

⚠ 注意

- お客様による内部のお手入れは危険ですのでおやめください。

内部にホコリがたまった状態で使用し続けると、火災、感電の原因となることがあります。安全なご使用のため、2年に1度を目安に、販売店に内部の清掃・点検をご依頼ください。内部のお手入れは湿気の多くなる梅雨期の前に行くと効果的です。お手入れの費用などについては販売店にご相談ください。

レンズのお手入れ

⚠ 注意

- ランプの点灯中はレンズから強い光が投射されています。視力障害などの原因となりますので絶対にのぞかないでください
- 使用中や使用後しばらく、レンズや周辺は特に高温になります。火傷の原因となることがありますのでご注意ください。
- レンズを硬いもので傷つけないようにご注意ください。

- 1 プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って十分冷ます
図のように、つまみを持って、手前に引いて外してください。
- 2 クリーニングペーパーでレンズを拭く
市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネの清掃用）で拭いてください。

キャビネット・リモコンのお手入れ

⚠ 注意

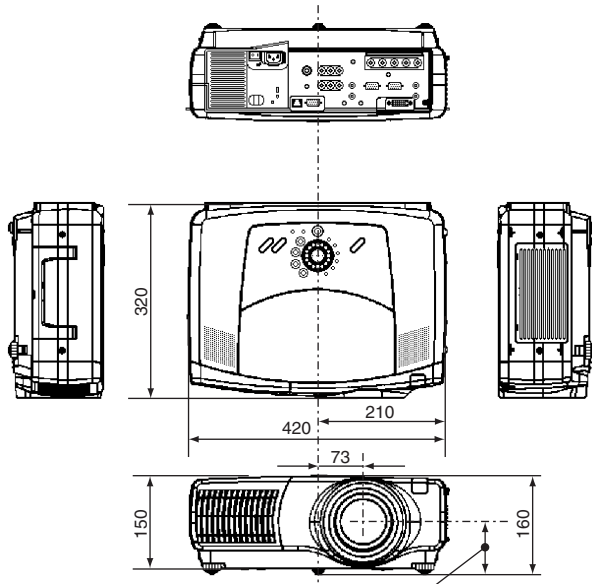
- 硬いもので傷つけないようにご注意ください。
- 以下に指定されているもの以外、ベンジンやシンナーなどの洗剤や薬品は仕様しないでください。
- 内部に水や洗剤を入れないでください。スプレーはご使用にならないでください。

- 1 プロジェクターの電源を切って電源プラグを抜き、しばらく待って十分冷ます
- 2 やわらかい布で拭く

ガーゼなどのやわらかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で軽く拭いた後、別の乾いたやわらかい布で軽く拭いて仕上げてください。

付 録

外形寸法



85.5 (レンズ最下位置)~92.99 (レンズ最上位置)

単位：mm

コンピュータ信号について

対応信号例

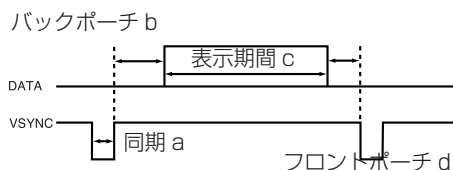
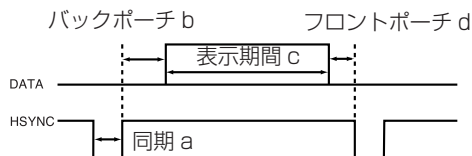
解像度 (水平×垂直)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	規格	信号モード	表示モード
720 x 400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大
640 x 480	31.5	59.9	VESA	VGA (60Hz)	拡大
640 x 480	35.0	66.7		Mac13"mode	拡大
640 x 480	37.9	72.8	VESA	VGA (72Hz)	拡大
640 x 480	37.5	75.0	VESA	VGA (75Hz)	拡大
640 x 480	43.3	85.0	VESA	VGA (75Hz)	拡大
800 x 600	35.2	56.3	VESA	SVGA (56Hz)	拡大
800 x 600	37.9	60.3	VESA	SVGA (60Hz)	拡大
800 x 600	48.1	72.2	VESA	SVGA (72Hz)	拡大
800 x 600	46.9	75.0	VESA	SVGA (75Hz)	拡大
800 x 600	53.7	85.1	VESA	SVGA (85Hz)	拡大
832 x 624	49.7	74.5		Mac16"mode	拡大
1024 x 768	48.4	60.0	VESA	XGA (60Hz)	
1024 x 768	56.5	70.1	VESA	XGA (70Hz)	
1024 x 768	60.0	75.0	VESA	XGA (75Hz)	
1024 x 768	68.7	85.0	VESA	XGA (85Hz)	
1152 x 864	67.5	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小
1280 x 960	60.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小
1280 x 1024	64.0	60.0	VESA	SXGA (60Hz)	縮小
1280 x 1024	80.0	75.0	VESA	SXGA (75Hz)	縮小
1280 x 1024	91.2	85.0	VESA	SXGA (85Hz)	縮小
1600 x 1200	75.0	60.0	VESA	UXGA (60Hz)	縮小

お知らせ

- コンピュータによっては複数の表示モードを持っているものがあり、本機では対応できないモードを含む場合もあります。
- 本機とコンピュータを接続するまえに、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性を予めご確認ください。
- 入力信号によってはフルサイズで表示されない場合があります。
- 本機では UXGA(1600x1200)の信号まで表示することができますが、信号処理の過程でプロジェクターの液晶パネルの解像度に変換されます。入力信号と液晶パネルの解像度が同一の場合には、映像表示は最良となります。
- コンポジット、シンクオングリーンなどの同期信号の場合は、正常に表示できない場合があります。
- 「アジャスト」機能は入力信号によって正しく動作しない場合があります。

初期設定信号

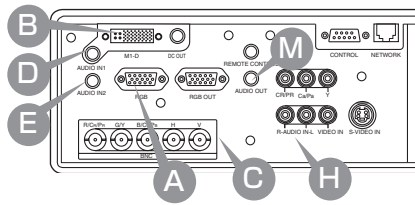
本機では下記の信号を初期設定していますが、コンピュータは機種によって信号タイミングが異なる場合があります。必要に応じてメニューの「垂直位置」「水平位置」の調節を行ってください。



コンピュータ / 信号源	水平信号タイミング(μs)			
	a	b	c	d
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA (60Hz)	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA (72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA (75Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA (75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
XGA (85Hz)	1.0	2.2	10.8	0.5
1152x864 (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
1280x960 (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
1280x1024 (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
1280x1024 (75Hz)	1.1	1.8	9.5	0.2
1280x1024 (85Hz)	1.0	1.4	8.1	0.4
1600x1200 (60Hz)	1.2	1.9	9.9	0.4

コンピュータ / 信号源	垂直信号タイミング(μs)			
	a	b	c	d
TEXT	3	42	400	1
VGA (60Hz)	2	33	480	10
Mac13"mode	3	39	480	3
VGA (72Hz)	3	28	480	9
VGA (75Hz)	3	16	480	1
VGA (75Hz)	3	25	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac16"mode	3	39	624	1
XGA (60Hz)	6	29	768	3
XGA (70Hz)	6	29	768	3
XGA (75Hz)	3	28	768	1
XGA (85Hz)	3	36	768	1
1152x864 (75Hz)	3	32	864	1
1280x960 (60Hz)	3	36	960	1
1280x1024 (60Hz)	3	38	1024	1
1280x1024 (75Hz)	3	37	1024	2
1280x1024 (85Hz)	3	44	1024	1
1600x1200 (60Hz)	3	46	1200	1

入出力端子について



RGB



Dサブ15ピン
シュリンク・ジャック

映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端（正極性）
水平／垂直同期信号：TTL レベル（正極性／負極性）
複合同期信号：TTL レベル

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	映像入力（赤）	6	接地（赤）	11	-
2	映像入力（緑）	7	接地（緑）	12	SDA (DDC)
3	映像入力（青）	8	接地（青）	13	水平／複合同期
4	-	9	-	14	垂直同期
5	接地	10	接地	15	SCL (DDC)

M1-D



M1-D ジャック

T.M.D.S.、DC150 ~ 1200mV/AC1.56Vp-p
TTL レベル（正極性／負極性）

ピン No.	信号	ピン No.	信号	ピン No.	信号
1	T.M.D.S. データ 2 +	11	T.M.D.S. データ 1 +	21	T.M.D.S. データ 0 +
2	T.M.D.S. データ 2 -	12	T.M/D.S. データ 1 -	22	T.M.D.S. データ 0 -
3	T.M.D.S. データ 2 Return	13	T.M.D.S. データ 1 Return	23	T.M.D.S. データ 0 Return
4	T.M.D.S. クロック Return	14	T.M.D.S. クロック +	24	USB +5V DC 入力
5	-	15	T.M.D.S. クロック -	25	DDC & USB Return
6	垂直同期	16	USB データ +	26	DDC データ (SDA)
7	-	17	USB データ -	27	DDC クロック (SCL)
8	Hot Plug 検出 (+5V DC 出力)	18	-	28	DDC +5V DC 入力
9	-	19	-	29	-
10	-	20	-	30	-

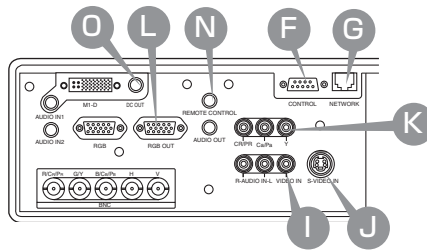
BNC(R,G,B,H,V)

RCA ジャック (BNC コネクタ) × 5
映像信号：アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端
水平／垂直同期信号：TTL レベル（正極性／負極性）
複合同期信号：TTL レベル（正極性／負極性）

AUDIO IN 1、AUDIO IN 2、AUDIO IN R、L、AUDIO OUT

3.5φ ステレオミニジャック
200mVrms、57k Ω 終端

入出力端子について(つづき)



VIDEO IN

RCA ジャック
 信号方式：NTSC、PAL、SECAM、PAL-M,N、NTSC4.43、PAL60
 1.0 ± 1.0Vp-p、75 Ω 終端

S-VIDEO



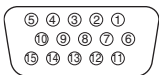
ミニ Din4 ピン
 ジャック

ピン No.	信号
1	色信号：0.286 Vp-p (NTSC、バースト)、75 Ω 終端 色信号：0.300 Vp-p (PAL/SECAM、バースト)、75 Ω 終端
2	輝度信号：1.0 Vp-p、75 Ω 終端
3	接地
4	接地

COMPONENT (CR/PR/CB/PB,Y)

RCA ジャック × 3
 信号方式：525i、525p、625i、720p、1125i
 Y 信号：1.0 ± 1.0Vp-p、75 Ω 終端、コンポジット同期
 C_B/C_R 信号：1.0 ± 1.0Vp-p、75 Ω 終端
 P_B/P_R 信号：1.0 ± 1.0Vp-p、75 Ω 終端

RGB OUT



D サブ 15 ピン
 シュリンク・ジャック

映像信号：RGB セパレート、アナログ 0.7Vp-p、75 Ω 終端 (正極性)
 水平/垂直同期信号：TTL レベル (正極性/負極性)
 複合同期信号：TTL レベル

ピン No	信号	ピン No	信号	ピン No	信号
1	映像出力 (赤)	6	接地 (赤)	11	-
2	映像出力 (緑)	7	接地 (緑)	12	-
3	映像出力 (青)	8	接地 (青)	13	水平/複合同期
4	-	9	-	14	垂直同期
5	接地	10	接地	15	-

REMOTE CONTROL

3.5φ ステレオミニジャック
 ※ワイヤードリモコンは必ず付属リモコンをご使用ください。23

DC OUT

CONTROL

※ RS-232C 通信については「RS-232C 通信について」56 をご覧ください。

NETWORK

CAT-5 ケーブル、RJ45(10BASE-T) ジャック

RS-232C 通信について

ケーブル接続

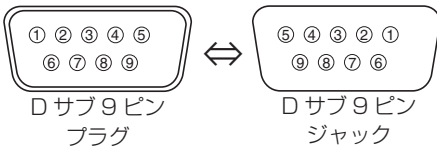
1 本機およびコンピュータの電源を切る

2 ケーブルを繋ぐ

本機のCONTROL端子とコンピュータのRS-232C端子をRS-232Cケーブルで接続してください。ケーブルには下図の仕様のものをお使いください。

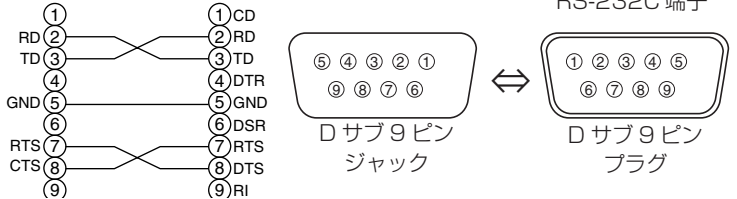
プロジェクター側

CONTROL 端子



コンピュータ側

RS-232C 端子



3 コンピュータおよび本機の電源を入れる

コンピュータの電源を先に入れ、コンピュータが立ち上がった後で本機の電源を入れてください。

通信設定

19200bps, 8N1

1. プロトコル構成

ヘッダ (7 バイト) + コマンドデータ (6 バイト)

2. ヘッダ

BE + EF + 03 + 06 + 00 + CRC_low + CRC_high

CRC low : コマンドデータ 6 バイトに対する CRC フラグ下位 1 バイト

CRC high : コマンドデータ 6 バイトに対する CRC フラグ上位 1 バイト

3. コマンドデータ

コマンドの構成

byte_0	byte_1	byte_2	byte_3	byte_4	byte_5
Action		Type		Setting code	
low	high	low	high	low	high

Action (byte_0 - 1)

Action の値	分類	内容
1	SET	設定を任意の値に変更します。
2	GET	本機内部の設定値を読み出します。
4	INCREMENT	設定値を一つ増やします。
5	DECREMENT	設定値を一つ減らします。
6	EXECUTE	コマンドを実行します。

プロジェクターの状態を問い合わせる場合 (Get command)

- (1) コンピュータから質問コードヘッダ + コマンドデータ ('02H' + '00H' + type (2 bytes) + '00H' + '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは回答コード '1DH' + data (2 byte) をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定を変更する場合 (Set command)

- (1) コンピュータから設定コードヘッダ + コマンドデータ ('01H' + '00H' + type (2 bytes) + セッティングコード (2 bytes)) をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定をデフォルトにする場合 (Reset Command)

- (1) コンピュータからデフォルト設定コードヘッダ + コマンドデータ ('06H' + '00H' + type (2 bytes) + '00H' + '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは指定された設定コードをデフォルトに変えます。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を増やす場合 (Increment command)

- (1) コンピュータから増加設定コードヘッダ + コマンドデータ ('04H' + '00H' + type (2 bytes) + '00H' + '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を増加します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定値を減らす場合 (Decrement command)

- (1) コンピュータから減少設定コードヘッダ + コマンドデータ ('05H' + '00H' + type (2 bytes) + '00H' + '00H') をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を減少します。
- (3) プロジェクターは回答コード '06H' をコンピュータへ返します。

プロジェクターが受信したコマンドを理解できない場合

プロジェクターが受信したコマンドを理解できない場合は、プロジェクターはエラーコード '15H' をコンピュータへ送信します。

また、プロジェクターがコマンドを正しく受信できない場合があり、この場合受信コマンドは実行されず、エラーコード '15H' をコンピュータへ送信します。エラーコード '15H' を受信した場合は再度同じコマンドを送信してください。

プロジェクターが受信したコマンドを実行できない場合

プロジェクターが受信したコマンドを実行できない場合は、プロジェクターはエラーコード '1cH' + 'xxxxH' をコンピュータへ送信します。

なお、必要なコマンドコード長より長い場合は、プロジェクターは余分なコードを無視します。逆に、必要なコマンドコード長より短い場合、本エラーコードをコンピュータへ送信します。

お知らせ

- プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
- 回答コードと他のコードの間隔は 40ms 以上あげてください。
- セットの電源投入時およびランプ点灯後にプロジェクターからテスト用のデータが出力されますが無視してください。
- ウォームアップ中はコマンドを受信できません。

コマンド名	操作タイプ	コードヘッダー				コマンドデータ			
					CRC	Action	Type	Setting code	
KEYSTONE V	Get	BE EF	03	06 00	B9 D3	02 00	07 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	DF D3	04 00	07 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	0E D2	05 00	07 20	00 00	
KEYSTONE V RESET	Execute	BE EF	03	06 00	08 D0	06 00	0C 70	00 00	
KEYSTONE H	Get	BE EF	03	06 00	E9 D0	02 00	0B 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	8F D0	04 00	0B 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	5E D1	05 00	0B 20	00 00	
KEYSTONE H RESET	Execute	BE EF	03	06 00	98 D8	06 00	20 70	00 00	
BRIGHTNESS	Get	BE EF	03	06 00	89 D2	02 00	03 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	EF D2	04 00	03 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	3E D3	05 00	03 20	00 00	
BRIGHTNESS RESET	Execute	BE EF	03	06 00	58 D3	06 00	00 70	00 00	
CONTRAST	Get	BE EF	03	06 00	FD D3	02 00	04 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	9B D3	04 00	04 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	4A D2	05 00	04 20	00 00	
CONTRAST RESET	Execute	BE EF	03	06 00	A4 D2	06 00	01 70	00 00	
ASPECT	Set	4:3	BE EF	03	06 00	9E D0	01 00	08 20	00 00
		16:9	BE EF	03	06 00	0E D1	01 00	08 20	01 00
		SMALL	BE EF	03	06 00	FE D1	01 00	08 20	02 00
		NORMAL	BE EF	03	06 00	5E DD	01 00	08 20	10 00
	Get	BE EF	03	06 00	AD D0	02 00	08 20	00 00	
WHISPER	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	3B 23	01 00	00 33	00 00
		WHISPER	BE EF	03	06 00	AB 22	01 00	00 33	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	08 23	02 00	00 33	00 00	
MIRROR	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 D2	01 00	01 30	00 00
		H INVERSE	BE EF	03	06 00	57 D3	01 00	01 30	01 00
		V LNVERSE	BE EF	03	06 00	A7 D3	01 00	01 30	02 00
		H&V INVERSE	BE EF	03	06 00	37 D2	01 00	01 30	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	F4 D2	02 00	01 30	00 00	
LANGUAGE	Set	ENGLISH	BE EF	03	06 00	F7 D3	01 00	05 30	00 00
		FRANÇAIS	BE EF	03	06 00	67 D2	01 00	05 30	01 00
		DEUTSCH	BE EF	03	06 00	97 D2	01 00	05 30	02 00
		ESPAÑOL	BE EF	03	06 00	07 D3	01 00	05 30	03 00
		ITALIANO	BE EF	03	06 00	37 D1	01 00	05 30	04 00
		NORSK	BE EF	03	06 00	A7 D0	01 00	05 30	05 00
		NEDERLANDS	BE EF	03	06 00	57 D0	01 00	05 30	06 00
		PORTUGUÊS	BE EF	03	06 00	C7 D1	01 00	05 30	07 00
		日本語	BE EF	03	06 00	37 D4	01 00	05 30	08 00
		中文	BE EF	03	06 00	A7 D5	01 00	05 30	09 00
		한글	BE EF	03	06 00	57 D5	01 00	05 30	0A 00
		SVENSKA	BE EF	03	06 00	C7 D4	01 00	05 30	0B 00
		PYCKNN	BE EF	03	06 00	F7 D6	01 00	05 30	0C 00
	SUOMI	BE EF	03	06 00	67 D7	01 00	05 30	0D 00	
POLSKI	BE EF	03	06 00	97 D7	01 00	05 30	0E 00		
Get	BE EF	03	06 00	C4 D3	02 00	05 30	00 00		

(次頁につづく)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ		コードヘッダー				コマンドデータ			
						CRC	Action	Type	Setting code	
GAMMA	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	C7 F0	01 00	A1 30	00 00	
		CINEMA	BE EF	03	06 00	57 F1	01 00	A1 30	01 00	
		DYNAMIC	BE EF	03	06 00	A7 F1	01 00	A1 30	02 00	
		CUSTOM	BE EF	03	06 00	07 FD	01 00	A1 30	10 00	
	Get		BE EF	03	06 00	F4 F0	02 00	A1 30	00 00	
CUSTOM GAMMA	Get		BE EF	03	06 00	08 F1	02 00	A0 30	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	6E F1	04 00	A0 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF F0	05 00	A0 30	00 00	
CUSTOM COLOR TEMP	Set	USER	BE EF	03	06 00	3B F8	01 00	B0 30	10 00	
		HIGH	BE EF	03	06 00	0B F5	01 00	B0 30	03 00	
		MIDDLE	BE EF	03	06 00	9B F4	01 00	B0 30	02 00	
		LOW	BE EF	03	06 00	6B F4	01 00	B0 30	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C8 F5	02 00	B0 30	00 00	
CUSTOM USER R	Set	50	BE EF	03	06 00	57 F7	01 00	B1 30	05 00	
		60	BE EF	03	06 00	C7 F6	01 00	B1 30	04 00	
		70	BE EF	03	06 00	F7 F4	01 00	B1 30	03 00	
		80	BE EF	03	06 00	67 F5	01 00	B1 30	02 00	
		90	BE EF	03	06 00	97 F5	01 00	B1 30	01 00	
	100	BE EF	03	06 00	07 F4	01 00	B1 30	00 00		
	Get		BE EF	03	06 00	34 F4	02 00	B1 30	00 00	
CUSTOM USER G	Set	50	BE EF	03	06 00	13 F7	01 00	B2 30	05 00	
		60	BE EF	03	06 00	83 F6	01 00	B2 30	04 00	
		70	BE EF	03	06 00	B3 F4	01 00	B2 30	03 00	
		80	BE EF	03	06 00	23 F5	01 00	B2 30	02 00	
		90	BE EF	03	06 00	D3 F5	01 00	B2 30	01 00	
	100	BE EF	03	06 00	43 F4	01 00	B2 30	00 00		
	Get		BE EF	03	06 00	70 F4	02 00	B2 30	00 00	
CUSTOM USER B	Set	50	BE EF	03	06 00	EF F6	01 00	B3 30	05 00	
		60	BE EF	03	06 00	7F F7	01 00	B3 30	04 00	
		70	BE EF	03	06 00	4F F5	01 00	B3 30	03 00	
		80	BE EF	03	06 00	DF F4	01 00	B3 30	02 00	
		90	BE EF	03	06 00	2F F4	01 00	B3 30	01 00	
	100	BE EF	03	06 00	BF F5	01 00	B3 30	00 00		
	Get		BE EF	03	06 00	8C F5	02 00	B3 30	00 00	
COLOR BALANCE R	Get		BE EF	03	06 00	01 D2	02 00	05 20	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	67 D2	04 00	05 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	B6 D3	05 00	05 20	00 00	
COLOR BALANCE R RESET	Execute		BE EF	03	06 00	94 D3	06 00	05 70	00 00	
COLOR BALANCE G	Get		BE EF	03	06 00	B5 D7	02 00	12 20	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	D3 D7	04 00	12 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	02 D6	05 00	12 20	00 00	
COLOR BALANCE G RESET	Execute		BE EF	03	06 00	04 DB	06 00	29 70	00 00	
COLOR BALANCE B	Get		BE EF	03	06 00	45 D2	02 00	06 20	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	23 D2	04 00	06 20	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	F2 D3	05 00	06 20	00 00	
COLOR BALANCE B RESET	Execute		BE EF	03	06 00	D0 D3	06 00	06 70	00 00	

(次頁につづく)

RS-232C 通信について (つづき)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ	コードヘッダー				コマンドデータ			
					CRC	Action	Type	Setting code	
SHARPNESS	Get	BE EF	03	06 00	F1 72	02 00	01 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 72	04 00	01 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 73	05 00	01 22	00 00	
SHARPNESS RESET	Execute	BE EF	03	06 00	C4 D0	06 00	09 70	00 00	
COLOR	Get	BE EF	03	06 00	B5 72	02 00	02 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 72	04 00	02 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 73	05 00	02 22	00 00	
COLOR RESET	Execute	BE EF	03	06 00	80 D0	06 00	0A 70	00 00	
TINT	Get	BE EF	03	06 00	49 73	02 00	03 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 73	04 00	03 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 72	05 00	03 22	00 00	
TINT RESET	Execute	BE EF	03	06 00	7C D1	06 00	0B 70	00 00	
MyMemory LOAD	Set	1	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	14 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	14 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	6E D6	01 00	14 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	FE D7	01 00	14 20	03 00
MyMemory SAVE	Set	1	BE EF	03	06 00	F2 D6	01 00	15 20	00 00
		2	BE EF	03	06 00	62 D7	01 00	15 20	01 00
		3	BE EF	03	06 00	92 D7	01 00	15 20	02 00
		4	BE EF	03	06 00	02 D6	01 00	15 20	03 00
V POSITION	Get	BE EF	03	06 00	0D 83	02 00	00 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	6B 83	04 00	00 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	BA 82	05 00	00 21	00 00	
V POSITION RESET	Execute	BE EF	03	06 00	E0 D2	06 00	02 70	00 00	
H POSITION	Get	BE EF	03	06 00	F1 82	02 00	01 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	97 82	04 00	01 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	46 83	05 00	01 21	00 00	
H POSITION RESET	Execute	BE EF	03	06 00	1C D3	06 00	03 70	00 00	
H PHASE	Get	BE EF	03	06 00	49 83	02 00	03 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	2F 83	04 00	03 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	FE 82	05 00	03 21	00 00	
H SIZE	Get	BE EF	03	06 00	B5 82	02 00	02 21	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	D3 82	04 00	02 21	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	02 83	05 00	02 21	00 00	
H SIZE RESET	Execute	BE EF	03	06 00	68 D2	06 00	04 70	00 00	
OVER SCAN	Get	BE EF	03	06 00	91 70	02 00	09 22	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	F7 70	04 00	09 22	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	26 71	05 00	09 22	00 00	
OVER SCAN RESET	Execute	BE EF	03	06 00	EC D9	06 00	27 70	00 00	
COLOR SPACE	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	0E 72	01 00	04 22	00 00
		RGB	BE EF	03	06 00	9E 73	01 00	04 22	01 00
		SMPTE240	BE EF	03	06 00	6E 73	01 00	04 22	02 00
		REC709	BE EF	03	06 00	FE 72	01 00	04 22	03 00
		REC601	BE EF	03	06 00	CE 70	01 00	04 22	04 00
	Get	BE EF	03	06 00	3D 72	02 00	04 22	00 00	
COMPONENT	Set	COMPONENT	BE EF	03	06 00	4A D7	01 00	17 20	00 00
		SCART RGB	BE EF	03	06 00	DA D6	01 00	17 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	79 D7	02 00	17 20	00 00	

(次頁につづく)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ		コードヘッダー				コマンドデータ			
						CRC	Action	Type	Setting code	
VIDEO FORMAT	Set	AUTO	BE EF	03	06 00	9E 75	01 00	00 22	0A 00	
		NTSC	BE EF	03	06 00	FE 71	01 00	00 22	04 00	
		PAL	BE EF	03	06 00	6E 70	01 00	00 22	05 00	
		SECAM	BE EF	03	06 00	6E 75	01 00	00 22	09 00	
		NTSC 4.43	BE EF	03	06 00	5E 72	01 00	00 22	02 00	
		M-PAL	BE EF	03	06 00	FE 74	01 00	00 22	08 00	
	N-PAL	BE EF	03	06 00	0E 71	01 00	00 22	07 00		
	Get		BE EF	03	06 00	0D 73	02 00	00 22	00 00	
3D-YCS	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	E6 70	01 00	0A 22	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	76 71	01 00	0A 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	D5 70	02 00	0A 22	00 00	
VIDEO NR	Set	LOW	BE EF	03	06 00	26 72	01 00	06 22	01 00	
		MIDDLE	BE EF	03	06 00	D6 72	01 00	06 22	02 00	
		HIGH	BE EF	03	06 00	46 73	01 00	06 22	03 00	
	Get		BE EF	03	06 00	85 73	02 00	06 22	00 00	
S2-ASPECT	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	1A 71	01 00	0B 22	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	8A 70	01 00	0B 22	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	29 71	02 00	0B 22	00 00	
AUTO ADJUST	Execute		BE EF	03	06 00	91 D0	06 00	0A 20	00 00	
AUTO OFF	Get		BE EF	03	06 00	08 86	02 00	10 31	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	6E 86	04 00	10 31	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	BF 87	05 00	10 31	00 00	
AUTO SEARCH	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	B6 D6	01 00	16 20	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	26 D7	01 00	16 20	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	85 D6	02 00	16 20	00 00	
BLANK COLOR	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	FB CA	01 00	00 30	20 00	
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	FB E2	01 00	00 30	40 00	
		BLUE	BE EF	03	06 00	CB D3	01 00	00 30	03 00	
		WHITE	BE EF	03	06 00	6B D0	01 00	00 30	05 00	
	BLACK	BE EF	03	06 00	9B D0	01 00	00 30	06 00		
	Get		BE EF	03	06 00	08 D3	02 00	00 30	00 00	
BLANK ON/OFF	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FB D8	01 00	20 30	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	6B D9	01 00	20 30	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	C8 D8	02 00	20 30	00 00	
STARTUP	Set	My Screen	BE EF	03	06 00	CB CB	01 00	04 30	20 00	
		ORIGINAL	BE EF	03	06 00	0B D2	01 00	04 30	00 00	
		TURN OFF	BE EF	03	06 00	9B D3	01 00	04 30	01 00	
	Get		BE EF	03	06 00	38 D2	02 00	04 30	00 00	
MENU POSITION V	Get		BE EF	03	06 00	40 D7	02 00	16 30	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	26 D7	04 00	16 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	F7 D6	05 00	16 30	00 00	
MENU POSITION V RESET	Execute		BE EF	03	06 00	A8 C7	06 00	44 70	00 00	
MENU POSITION H	Get		BE EF	03	06 00	04 D7	02 00	15 30	00 00	
	Increment		BE EF	03	06 00	62 D7	04 00	15 30	00 00	
	Decrement		BE EF	03	06 00	B3 D6	05 00	15 30	00 00	
MENU POSITION H RESET	Execute		BE EF	03	06 00	DC C6	06 00	43 70	00 00	

(次頁につづく)

RS-232C 通信について (つづき)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ		コードヘッダー			コマンドデータ			
						CRC	Action	Type	Setting code
MESSAGE	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	8F D6	01 00	17 30	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	1F D7	01 00	17 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	BC D6	02 00	17 30	00 00	
VOLUME	Get	BE EF	03	06 00	31 D3	02 00	01 20	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	57 D3	04 00	01 20	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	86 D2	05 00	01 20	00 00	
MUTE	Set	TURN ON	BE EF	03	06 00	46 D3	01 00	02 20	00 00
		TURN OFF	BE EF	03	06 00	D6 D2	01 00	02 20	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	75 D3	02 00	02 20	00 00	
LAMP TIME	Get	BE EF	03	06 00	C2 FF	02 00	90 10	00 00	
LAMP TIME RESET	Execute	BE EF	03	06 00	58 DC	06 00	30 70	00 00	
FILTER TIME	Get	BE EF	03	06 00	C2 F0	02 00	A0 10	00 00	
FILTER TIME RESET	Execute	BE EF	03	06 00	98 C6	06 00	40 70	00 00	
MAGNIFY	Get	BE EF	03	06 00	7C D2	02 00	07 30	00 00	
	Increment	BE EF	03	06 00	1A D2	04 00	07 30	00 00	
	Decrement	BE EF	03	06 00	CB D3	05 00	07 30	00 00	
FREEZE	Set	NORMAL	BE EF	03	06 00	83 D2	01 00	02 30	00 00
		FREEZE	BE EF	03	06 00	13 D3	01 00	02 30	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	B0 D2	02 00	02 30	00 00	
POWER	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	2A D3	01 00	00 60	00 00
		TURN ON	BE EF	03	06 00	BA D2	01 00	00 60	01 00
	Get	BE EF	03	06 00	19 D3	02 00	00 60	00 00	
		(Example Return) 00 00 (Off) 01 00 (On) 02 00 (Cool down)							
INPUT SOURCE	Set	M1-D	BE EF	03	06 00	0E D2	01 00	00 20	03 00
		RGB	BE EF	03	06 00	FE D2	01 00	00 20	00 00
		BNC	BE EF	03	06 00	3E D0	01 00	00 20	04 00
		VIDEO	BE EF	03	06 00	6E D3	01 00	00 20	01 00
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	9E D3	01 00	00 20	02 00
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	AE D1	01 00	00 20	05 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD D2	02 00	00 20	00 00	
ERROR STATUS	Get	BE EF	03	06 00	D9 D8	02 00	20 60	00 00	
		(Example of Return) 00 00 (Normal) 01 00 (Cover-error) 02 00 (Fan-error) 03 00 (Lamp-error) 04 00 (Temp-error) 05 00 (Air flow- error) 06 00 (Lamp-Time-over) 07 00 (Cool-error) 08 00 (Filter-Error)							
PinP SIZE	Set	Off	BE EF	03	06 00	FE 22	01 00	00 23	00 00
		Large	BE EF	03	06 00	6E 23	01 00	00 23	01 00
		Small	BE EF	03	06 00	9E 23	01 00	00 23	02 00
	Get	BE EF	03	06 00	CD 22	02 00	00 23	00 00	
PinP POSITION	Set	Upper Left	BE EF	03	06 00	02 23	01 00	01 23	00 00
		Upper Right	BE EF	03	06 00	92 22	01 00	01 23	01 00
		Bottom Left	BE EF	03	06 00	62 22	01 00	01 23	02 00
		Bottom Right	BE EF	03	06 00	F2 23	01 00	01 23	03 00
	Get	BE EF	03	06 00	31 23	02 00	01 23	00 00	

(次頁につづく)

RS-232C 通信について (つづき)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ		コードヘッダー				コマンドデータ			
						CRC	Action	Type	Setting code	
PinP AUDIO CH	Set	rgb	BE EF	03	06 00	BA 22	01 00	03 23	00 00	
		video	BE EF	03	06 00	2A 23	01 00	03 23	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	89 22	02 00	03 23	00 00		
PinP INPUT	Set	VIDEO	BE EF	03	06 00	D6 22	01 00	02 23	01 00	
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	26 22	01 00	02 23	02 00	
	Get	BE EF	03	06 00	75 23	02 00	02 23	00 00		
MY SCREEN SIZE	Set	FULL	BE EF	03	06 00	43 D6	01 00	12 30	00 00	
		X1	BE EF	03	06 00	D3 D7	01 00	12 30	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	70 D6	02 00	12 30	00 00		
MY SCREEN LOCK	Set	OFF	BE EF	03	06 00	3B EF	01 00	C0 30	00 00	
		ON	BE EF	03	06 00	AB EE	01 00	C0 30	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	08 EF	02 00	C0 30	00 00		
IR REMOTE FRONT	Set	OFF	BE EF	03	06 00	FF 32	01 00	00 26	00 00	
		ON	BE EF	03	06 00	6F 33	01 00	00 26	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	CC 32	02 00	00 26	00 00		
IR REMOTE REAR	Set	OFF	BE EF	03	06 00	03 33	01 00	01 26	00 00	
		ON	BE EF	03	06 00	93 32	01 00	01 26	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	30 33	02 00	01 26	00 00		
IR REMOTE TOP	Set	OFF	BE EF	03	06 00	47 33	01 00	02 26	00 00	
		ON	BE EF	03	06 00	D7 32	01 00	02 26	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	74 33	02 00	02 26	00 00		
POWER UP SOURCE	Set	LAST CH	BE EF	03	06 00	9E D9	01 00	18 20	10 00	
		M1-D	BE EF	03	06 00	AE D4	01 00	18 20	03 00	
		RGB	BE EF	03	06 00	5E D4	01 00	18 20	00 00	
		BNC	BE EF	03	06 00	9E D6	01 00	18 20	04 00	
		COMPONENT	BE EF	03	06 00	0E D7	01 00	18 20	05 00	
		S-VIDEO	BE EF	03	06 00	3E D5	01 00	18 20	02 00	
	VIDEO	BE EF	03	06 00	CE D5	01 00	18 20	01 00		
Get	BE EF	03	06 00	6D D4	02 00	18 20	00 00			
AUTO ADJUST ENABLE	Set	DISABLE	BE EF	03	06 00	A2 D5	01 00	19 20	00 00	
		ENABLE	BE EF	03	06 00	32 D4	01 00	19 20	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	91 D5	02 00	19 20	00 00		
INTERNAL SPEAKER	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	6E D5	01 00	1C 20	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	FE D4	01 00	1C 20	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	5D D5	02 00	1C 20	00 00		
LENS LOCK	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	FF 97	01 00	10 24	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	6F 96	01 00	10 24	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	CC 97	02 00	10 24	00 00		
Remote ID	Set	ALL	BE EF	03	06 00	9F 30	01 00	08 26	00 00	
		1	BE EF	03	06 00	0F 31	01 00	08 26	01 00	
		2	BE EF	03	06 00	FF 31	01 00	08 26	02 00	
		3	BE EF	03	06 00	6F 30	01 00	08 26	03 00	
	Get	BE EF	03	06 00	AC 30	02 00	08 26	00 00		
Auto Power On	Set	TURN OFF	BE EF	03	06 00	3B 89	01 00	20 31	00 00	
		TURN ON	BE EF	03	06 00	AB 88	01 00	20 31	01 00	
	Get	BE EF	03	06 00	08 89	02 00	20 31	00 00		

(次頁につづく)

RS-232C 通信について (つづき)

RS-232C コマンド一覧 (つづき)

コマンド名	操作タイプ		コードヘッダー				コマンドデータ		
						CRC	Action	Type	Setting code
LENS	Set	ALL	BE EF	03	06 00	3F D8	01 00	70 25	00 00
		1	BE EF	03	06 00	AF D9	01 00	70 25	01 00
		2	BE EF	03	06 00	5F D9	01 00	70 25	02 00
		3	BE EF	03	06 00	CF D8	01 00	70 25	03 00
		4	BE EF	03	06 00	FF DA	01 00	70 25	04 00
		5	BE EF	03	06 00	6F DB	01 00	70 25	05 00
	Get	BE EF	03	06 00	0C D8	02 00	70 25	00 00	

ご参考

故障かな？と思ったら

メッセージについて

プロジェクターの電源を入れたとき、下表のようなメッセージは表示されることがあります。この場合は下表に従って処置してください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店にご相談ください。

お知らせ (※) ランプ交換メッセージについて

- これらのメッセージは数分しか表示されませんが、ランプが交換されるまでは、電源を入れるたびに表示されます。
- ランプには寿命があり、長時間ご使用になるとランプが不点灯となったり破裂したりする特性があります。本機は、ランプの使用時間が 2000 時間に達すると自動的に電源を切る「シャットダウン機能」を備えています。ランプの寿命はランプによって大きな差があるため、シャットダウン機能が働くまえに不点灯となったり破裂したりする場合があります。

メッセージ	内容
ランプを交換して下さい ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。	(※)ランプの使用時間が 2000 時間に近づいています。 新しいランプの準備と早めの交換をお勧めします。ランプの交換は正しく行ってください。47 ランプを交換したら、ランプタイマーのリセットを忘れずに行ってください。43
ランプを交換して下さい ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ++ 時間後に電源を切ります。	(※)ランプの使用時間が 2000 時間に近づいています。 ランプの使用時間が 2000 時間に達すると自動的に電源が切れます。あと * 時間以内に交換することをお勧めします。 ランプの交換は正しく行ってください。47 ランプを交換したら、ランプタイマーのリセットを忘れずに行ってください。43
ランプを交換して下さい ランプ交換後、 ランプタイマーをリセットして下さい。 ++ 時間後に電源を切ります。	(※) ランプの使用時間が 2000 時間に達しました。 まもなく電源が切れます。 すぐに電源を切り、45 分以上冷ました跡、ランプを交換してください。ランプの交換は正しく行ってください。47 ランプを交換したら、ランプタイマーのリセットを忘れずに行ってください。43
エアフィルターを掃除して下さい 電源をき切ってから、 エアフィルターを掃除して下さい。 エアフィルター掃除後、フィルター タイマーをリセットして下さい。	エアフィルターの掃除時期です。 すぐに電源を切り、エアフィルターを掃除または交換してください。49 エアフィルター掃除または交換したら、フィルタータイマーのリセットを忘れずに行ってください。43
吸気口をチェックして下さい。	内部の温度が上昇しています。 すぐに電源を切り、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？

(次頁につづく)

故障かな?と思ったら(つづき)

メッセージについて(つづき)

メッセージ	内容
<p>*** に信号が入力されていません。</p>	<p>入力信号が見つかりません。以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？ ・信号源(ビデオ、パソコンなど)は正しく動作していますか？
<p>*** の信号は同期範囲外です。 fH +++.+kHz fV +++.+Hz</p>	<p>入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。</p> <p>以下のことをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入力している信号は本機の仕様 () に合っていますか？ ・信号源(ビデオ、パソコンなど)は正しく動作していますか？

インジケータランプについて

STANDBY/ON インジケータ、LAMP インジケータ、TEMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。なんらかの問題がある場合は下表に従って処置してください。処置後も同じ点灯や点滅が表示されたり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は販売店にご相談ください。

お知らせ

内部温度が上がりすぎたり、ランプやランプカバーの取付けが不完全な場合など、本機では安全のため、自動的に電源が切れることがあります。このときインジケータランプも消灯することがありますのでご注意ください。この場合はすぐに電源スイッチの「○」(切る)側を押し、45分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。「ランプ」[47](#)をご覧ください。

STANDBY/ON インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内容
橙色に 点灯	消灯	消灯	冷却が完了しました。 この状態で電源スイッチを切ることができます。 26 「パワーオフ」機能が働いた場合もこの状態になります。 40
緑色に 点滅	消灯	消灯	ウォームアップ中です。 STANDBY/ON インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 25
緑色に 点灯	消灯	消灯	通常の動作状態です。
橙色に 点滅	消灯	消灯	冷却中です。 STANDBY/ON インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。 26 「パワーオフ」機能が働いた場合もこの状態になります。 40
赤色に 点滅	(任意)	(任意)	不具合が見つかったため、冷却中です。 STANDBY/ON インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、LAMP インジケータおよび TEMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色に 点灯	赤色に 点灯	消灯	ランプが無いが取付けが不完全であったり、なんらかの理由でランプが点灯しなかったり、または内部温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに電源を切り、45分以上待って冷ましてください。以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがっていませんか？ ・エアフィルターは汚れていませんか？ ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・ランプは正しく取り付けられていますか？ インジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。ランプの交換は「ランプ」の項に従って正しく行ってください。ランプを交換したら、ランプタイマーのリセットを忘れずに行ってください。
赤色に 点灯	消灯	赤色に 点滅	冷却ファンが動作しません。 すぐに電源を切り、20分以上待って冷ましてください。以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・ファンに異物がはさまったりしていませんか？

(次頁につづく)

故障かな?と思ったら(つづき)

インゲージランプについて(つづき)

STANDBY/ON インジケータ	LAMP インジケータ	TEMP インジケータ	内容
赤色に 点灯	消灯	赤色に 点灯	内部温度が上がりすぎている可能性があります。 すぐに電源を切り、20分以上待って冷ましてください。以下の ことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・通風口はふさがっていませんか? ・エアフィルターは汚れていませんか? ・周囲温度が35℃を超えていませんか?
緑色に 点灯	2つ交互に 赤色に点滅		内部温度が下がりすぎている可能性があります。 適切な温度環境(0~35℃)でご使用ください。周囲の気温をご 確認のうえ、もう一度電源を入れてください。
緑色に 点灯	2つ同時に 赤色に点滅		エアフィルターが汚れたり、はずれている可能性があります。す ぐに電源を切り、「エアフィルター」の項に従ってエアフィルター を掃除または交換してください。エアフィルター掃除または交換 したら、フィルタータイマーのリセットを忘れずに行ってください。

故障と間違えやすい現象

⚠ 警告

ご使用のまえに、必ず「使用上のご注意」**4**をお読みください。煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音が出る、などの異常が発生した場合はすぐに電源プラグを抜いてください。

以下のような現象は故障ではない場合があります。修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認ください。

お知らせ

- 画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。
- 静止画や動きの少ない映像、本機のパネル仕様(4:3)と異なる縦横比の映像などを長時間、または繰り返し投射すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像としてのこることがあります。この場合は画面全体が白い映像を1時間くらい投射し続けてください。白画面表示にはBLANK機能**41**をご利用ください。

現象	確認内容	参照頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか? 電源コードの接続状態を確認してください。	20
	電源スイッチは入っていますか? 電源スイッチの「I」(入れる)側を押してください。	25
	停電などで動作中に電源が切れませんでしたか? その場合は電源スイッチの「O」(切る)側を押してください。20分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	25
	ランプは正しく取付けられていますか? すぐに電源スイッチの「O」(切る)側を押し、45分以上待って冷ましてください。ランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	50
映像も音声もない	信号ケーブルは正しく接続されていますか? 信号ケーブルやコネクタの接続状態を確認してください。	16
	信号源(ビデオ、パソコンなど)は正しく動作していますか? 信号源の電源や設定を確認してください。	-
	信号が入力されている端子を選んでいませんか? 入力信号を選びなおしてください。	27
映像は出るが 音声は出ない	音声信号は正しく接続されていますか? 信号ケーブルの接続状態を確認してください。	16
	「音量」が小さく調節されていませんか? 「音量」を大きく調節してください。	30
	消音モードになっていませんか? リモコンのMUTEボタンを押して、確認してください。	30
	音声は正しく選択されていませんか?(子画面が表示されているとき) 音声を切り替えて、確認してください。	32
音声は出るが 映像は出ない	レンズキャップははずれていますか? レンズキャップをはずしてください。	25
	映像信号は正しく接続されていますか? 信号ケーブルの接続状態を確認してください。	16
	画面の明るさが暗く調節されていませんか? 「明るさ」を明るく調節してください。	34
	BLANKモードになっていませんか? BLANKボタンを押して、確認してください。	30

(次頁につづく)

故障と間違えやすい現象について(つづき)

現象	確認内容	参照頁
色が薄い、色あいが悪い	色の濃さや色あいは正しく調節されていますか？ 「赤色の濃さ」「緑色の濃さ」「青色の濃さ」「色の濃さ」「色あい」などの調節を行ってください。	35, 36
映像が暗い	画面の明るさやコントラストは正しく調節されていますか？ 「明るさ」や「コントラスト」を調節してください。	34
	静音モードが設定されていませんか？ 「静音」を「標準モード」にしてください。	34
	ランプの寿命は近づいていませんか？ 電源を入れたとき「ランプを交換してください」などのメッセージは出ていたら、ランプを交換してください。	47, 65
画像がぼやける、もやがかかってみえる、画像周辺が明るい	フォーカスやクロック位相は正しく調節されていますか？ フォーカスつまみ、「クロック位相」を調節してください。	27
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	53
信号を切り替えていないのに入力が切り替わる	INPUTダイヤルがクリックポイントとクリックポイントの間で泊まっていますか？ INPUTダイヤルをクリックポイントにきちんとあわせてください。	27

仕様

項目	仕様	
品名	液晶プロジェクター	
液晶パネル	パネルサイズ	2.5 cm (0.99 型), 4 : 3 パネル
	駆動式	TFT アクティブマトリクス
	画素数	786,432 画素 (水平 1024 × 垂直 768)
レンズ	ズームレンズ F=1.7 ~ 2.4 f=30.5 ~ 45.8 mm	
ランプ	CP-X1200J/CP-X1250J:310W UHB CP-X1200JA:275W UHB	
スピーカー	1.0W + 1.0W (Stereo)	
電源	AC100V (50Hz/60Hz)	
消費電力	CP-X1200J/CP-X1250J:470W CP-X1200JA:430W	
使用温度範囲	0°C ~ 35°C (Operating)	
外形寸法	420(W) x 150(H) x 310(D) mm (突起部含まず) ● 「付録」 - 「外形寸法」 51 をご参照ください。	
質量	7.7kg	
端子	<u>RGB 入力端子</u> RGB M1-D BNC (R,G,B,H,V) <u>ビデオ入力端子</u> VIDEO IN S-VIDEO COMPONENT (CR/PR, CB/PB, Y) <u>音声入力端子</u> AUDIO IN 1 AUDIO IN 2 AUDIO IN R/L	<u>RGB 出力端子</u> RGB OUT <u>音声出力端子</u> AUDIO OUT <u>コントロール端子</u> CONTROL <u>その他</u> NETWORK REMOTE CONTROL DC OUT
別売品	CP-X1200J/CP-X1250J 用交換用ランプ:CP-X1250J 001 (DT00601) CP-X1200JA 用交換用ランプ : CP-X1200JA 002 (DT00591) 交換用エアフィルター : CP-X1200JA 001 (NJ08081) ●その他の別売品については販売店にお尋ねください。	

お知らせ

- この製品は日本国内でのみご使用になれます。外国ではご使用にならないでください。
This product is designed for use in Japan only cannot be used in any other country.
- 本書の内容は製品仕様を含め、改良のため予告無く変更することがあります。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本書の内容の一部あるいは全部を無断で複製、転載しないでください。

保証とアフターサービスについて (必ずお読みください)

**保証書
(別添)**

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間については保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは (出張修理)

**ご不明な点や
修理に関する
ご相談は**

65～70ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」にお問い合わせください。

**補修用
性能部品
保有期間**

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

保証期間中は
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
本体型名	CP-X1200/CP-X1250 (CP-X1200/CP-X1250J/ CP-X1200JA)
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども 合わせてお知らせください。
お名前	故障の状況
電話番号	故障の状況
訪問ご希望日	故障の状況

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、注射料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

長年で使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

<p>愛情点検</p>	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音声が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●ランプが破裂した。 	<p>ご使用中止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずし必ず販売店にご相談ください。</p>
--------------------	--	--

ユーザー登録のご案内

日立ではお買い上げ頂いた皆様へのサポートの充実を図るために、「ユーザー登録」をお勧めしております。下記方法にてご登録お願いいたします。

オンラインによる登録方法：

1. 日立ホームページへアクセスする。

日立液晶プロジェクターホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/proj/>

2. 画面にユーザー登録のアイコンをクリックする。

3. 登録内容、簡単なアンケートにお応えください。

4. ユーザー登録完了画面になりましたら「ユーザー登録」完了です。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

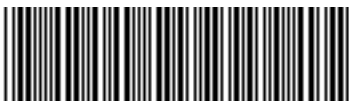
FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19

FAX 0120-3121-34

*ダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。



QR60181

株式会社 日立製作所 デジタルメディア事業部
〒244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地
電話 (045)866-6305